

「ながさきスポーツビジョン（2021-2025）」（素案）に対する パブリックコメントの募集結果について

「ながさきスポーツビジョン（2021-2025）」（素案）について、パブリックコメントを実施したところ、貴重なご意見を賜り、厚くお礼申し上げます。

お寄せいただいたご意見に対する県の考え方について、下記のとおり、公表いたします。

記

- 1 募集期間 令和2年12月21日～令和3年1月20日（31日間）
- 2 募集方法 電子申請、郵送、ファクシミリ
- 3 閲覧方法 県ホームページ掲載、県スポーツ振興課、
県政情報コーナー（県民センター内）、
各振興局行政資料コーナー（長崎振興局を除く）
- 4 意見件数 143件（127名）
- 5 意見への対応区分の内容

対応区分	内 容	件 数
A	・素案に修正を加え、反映させたもの	1
B	・素案に既に盛り込まれているもの ・素案の考え方や姿勢に合致し、今後、実施・遂行の中で 反映させていくもの	31
C	・今後検討していくもの	1
D	・反映することが困難なもの	10
E	・その他（ご意見・ご感想として承るもの）	100

●『ながさきスポーツビジョン』全般に対するご意見

番号	意見要旨	区分	県の考え方
1	素案のままで大丈夫だと思う。 子どもからお年寄りまで幅広い年代がスポーツを楽しむことが出来ると思う。 生涯スポーツの考え方で、スポーツを楽しむことで身体的にも精神的にも健康で楽しく生きることができるようになるといいと思った。	B	本ビジョンに基づき、本県のスポーツ振興に取り組んでまいります。
2	内容も十分でいて素案のままでいいと思う。	B	本ビジョンに基づき、本県のスポーツ振興に取り組んでまいります。

●「スポーツとは」に対するご意見

番号	意見要旨	区分	県の考え方
3	スポーツについての説明がとても詳しくていいと思う。 県民のスポーツに対する知識が増える結果につながると思う。	E	スポーツの捉え方については、世代によっても異なるため、審議会委員のご意見を踏まえながら丁寧な説明を心掛けました。
4	スポーツはみんなのものであり、健康のため、色々な人たちとの交流を広げることができるという、この二つのことができることはとてもいいと思う。また、スポーツはこれからの世の中においても、長生きできるかどうかにも大きく関わるのがわかり、スポーツを推進し、体を動かすことを中心としていくことは大切だと思う。	E	県民の皆様にはスポーツの大切さを知っていただけるよう、本ビジョンに基づき、本県のスポーツ振興に取り組んでまいります。
5	スポーツは健康のためとばかり思っていたが、平和で持続可能な社会の実現に繋がっているとは思っていなかった。	E	平和で持続可能な社会の実現のために、スポーツで貢献できることはたくさんあります。
6	スポーツはみんなが出来る権利と書いてあるが、絵やスポーツの例では健常者の絵やスポーツ名が書いてあったので、みんなが権利を持っているならどこかに障害を持っているけど、楽しくスポーツをしている人の絵や障害を持っていてもできるスポーツを入れたらもっといいと思う。	B	「様々な形のスポーツ」において、車イスバスケットボールの絵を、その他、フライングディスク及び車イスバスケットボールの写真を掲載しております。
7	スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利という考え方はとてもいいと思った。スポーツをすることで心の安定や体の健康を保っている人もいるので、全ての人々がこの権利を持って幸福になれるのは素晴らしいと思う。	E	平成23年に制定されたスポーツ基本法において、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利である」旨、明記されています。
8	スポーツ活動を行うことで地域コミュニティの形成や維持に繋がることを知った。現在はコロナ化によって様々な活動に制限がある中で、スポーツだけは無観客だけ行われている。私は、スポーツには人々に様々な影響を与える力があると思う。先の見えない今だからこそ、スポーツ活動を地域だけでとどめるのではなく、県や国が1つとなってより活発にスポーツを行っていくことが大切であると思う。	E	ご意見のとおり、スポーツには人々に様々な影響を与える力がありますので、国とも連携を図りながら、本県のスポーツ振興に取り組んでまいります。
9	私はスポーツは体を動かすことによって行われるのだと思っていた。しかし世の中には体が不自由で思うように動けない人や運動が苦手な人が大勢いる。そのようなひとたちのためにはどうすればよいのか。長崎ではスポーツに参画する方法として「する」「みる」「ささえる」という三つの方法が挙げられていた。つまり体を動かすだけがスポーツではないのだ。私は柔道をしてきたがほかのスポーツも好きだ。しかし柔道以外のスポーツはあまり得意ではない。だからほかのスポーツでは観戦する立場として参加することにした。例えばV・ファーレン長崎の試合を応援するときは見る以外にもほかの人と一緒に応援することでもっと楽しむことができた。「スポーツはみんなのもの」この言葉を心に刻んでこれからもスポーツを楽しみたい。	E	スポーツ基本法において、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」となるとされています。スポーツはみんなのものであります。スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことによる県民のスポーツへの参画を推進してまいります。
10	『「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」となるとされています。』この文章は、ながさきスポーツビジョンの核となる文章だと思う。したがって、青色で記載し、強調されていることは適切だと思うが、でき得れば、「全ての人々の権利」の文言は、最大限に強調したいところだと思うので、赤字の表記が最善かと思う。	A	「全ての人々の権利」は赤字で表記いたします。
11	ペーロンの説明について、せっかく船のような形の上にペーロンの説明が記載されているので、是非とも、漕ぎ手にはばんくを乗船させてほしい。	D	デザインガイドマニュアルにより、マスコットキャラクターに書き加えたり、他のものを重ねたりすることが禁止されているため、対応が困難です。

●「新しい生活様式におけるスポーツの在り方」に対するご意見

番号	意見要旨	区分	県の考え方
12	スポーツをする上で1番大切なことは何を目的にしているかだと思う。今は集団でのスポーツをすることは難しい状況にあるが、1人でできるスポーツも多くあるので心配ない。私自身スポーツをすることはとても好きなので続けていきたい。	E	県民の誰もが、それぞれの体力、興味、目的等に応じて、「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しむことができるよう、スポーツ活動への参加の促進等に取り組んでまいります。
13	現在、新型コロナウイルスの影響で、普段よりスポーツを行う人はとても減ってきていると感じる。しかし、しっかり対策をしながらスポーツを行えるということがわかった。スポーツを楽しむことによって、体の免疫がついたり、精神的にも健康になったりすることがわかり、このような今だからこそしっかり対策を忘れずに、たくさんスポーツを楽しみたい。	E	適度な運動・スポーツを行うことは、身体的及び精神的な健康を維持する上で必要なことですので、コロナ禍においても、安全に運動・スポーツをするポイントを押さえて、引き続き、運動・スポーツを楽しんでください。
14	このページはとても素晴らしいと思う。なぜなら、私自身、コロナ禍の時代になって運動不足で体力が落ちたと感じていて、このページのおかげでスポーツに対する意識が変わり、もっと積極的にスポーツを見たりしたりしなければならなかったから。私と同じような県民の人も多くいると思うので、このページの結果は期待できると思う。	E	適度な運動・スポーツを行うことは、身体的及び精神的な健康を維持する上で必要なことですので、コロナ禍においても、安全に運動・スポーツをするポイントを押さえて、運動・スポーツを行うことを心掛けていきましょう。
15	新型コロナウイルス感染症による人々の心のストレスは非常に大きいと思うので、アルコール消毒などを徹底した安心、安全な場所でスポーツを行うことはストレス発散にもなり、良い取組だと思った。マスクを外すことに抵抗を持つようになってきていると思うので、マスク着用のまま激しい運動をすると危ないということを伝えることが重要だと思った。	E	スポーツを行う場所を利用する全ての人々が安心安全に気持ちよくスポーツを行うためには、正しい知識に基づき、ルールやマナーを守って、お互いを思いやる行動が大切だと考えます。県としても、より一層の情報発信に努めてまいります。
16	今、新型コロナウイルスの影響でオリンピック開催の延期が決定したり、自分たちでスポーツすることもなかなか難しく、スポーツをすることが全体的に難しい状況だと思う。それに加えてステイホームが掲げられ家で過ごす時間も多くなり、歩くことすら少なくなってしまっていると思う。マスクをつけたりソーシャルディスタンスを保ったりしてスポーツをすることも良いと思いますが、SNSなどを使い、「みんなでダンス」みたいな動画でダンスを進めたり、家ででもできる運動を紹介したりしたら少しは運動不足解消ができると思った。また、スポーツの良さは人と繋がれるということだと思うのでネットを使ってでも人と繋がれて運動できるものがあったら楽しくスポーツができるのではないかなと思う。	B	基本方針1の1の(2)「スポーツ活動への参加促進に向けた普及・啓発」において、スポーツに関して幅広く、SNS等を活用しながら情報発信に努めていくこととしております。 また、県スポーツ振興課ホームページにおいて、運動不足にならないために、県民体操「がんばらば体操」を始め、親子向け運動・あそびプログラム「あそびバ！」などの家でできる運動の紹介を行っています。このようなスポーツ情報の発信に引き続き取り組んでまいりますとともに、ネット上においても人と繋がれて運動できる仕組みづくりについても検討してまいります。
17	例年、年末年始はあまり外出せず家で過ごすことが多いが、今年はさらにコロナの影響もあり、家から出ることに抵抗があった。外で運動するだけなのに、感染することへの恐怖で体が拒否反応を示している。しかしスポーツは自己免疫力を向上させ、ストレス解消にも繋がると再確認出来た。 出来るだけ人が少ないところで体を動かしたり、マスクを着用する、消毒をこまめに行うといった、感染防止をしっかり行うことで、安心してスポーツが出来ると思った。近くにスポーツが出来施設があり、さらにそこでは感染防止の取組がしっかり行われているとなると気軽に利用出来るだろう。環境に左右されず、変わってゆく生活様式に合わせてスポーツをしていこうと思った。	E	適度な運動・スポーツを行うことは、身体的及び精神的な健康を維持する上で必要なことですので、コロナ禍においても、安全に運動・スポーツをするポイントを押さえて、運動・スポーツを行うことを心掛けていきましょう。
18	新しい生活様式におけるスポーツのあり方の項目を読み、新型コロナウイルスにより、今までとは違う生活様式に色々なものが変化したと感じた。私たちの身の周りの生活様式も変わる中で、その一つにスポーツの変化もあると考える。そして、新型コロナウイルス感染症による社会活動の低下により、心身の健康にも影響を及ぼしていると書いてあるように、体を動かす機会も減り、このような結果になっていると感じた。体を動かす機会が減り、あらためて考えると、運動をすることで、ストレス発散や体力向上にもつながるなど、沢山メリットがあると気づくことができた。これから、まだまだ新型コロナウイルスとは、うまく付き合っていかなければならない為、スポーツをこれからもみんなが出来るように、安全にできるように工夫も必要になる。 自分達ができるものは感染防止対策。これからもスポーツが生活の一部になるようになればいいと考える。もっとスポーツの大切さが広がってほしい。	E	県民の皆様にはスポーツの大切さを知っていただけるよう、本ビジョンに基づき、本県のスポーツ振興に取り組んでまいります。

19	今までとは違い、コロナが流行ってきており、以前より感染症への対策が考えられる中で、スポーツをする時にもマスクをするのは大変ではあるが、スポーツ用マスクが出来ていたりするのは良いと思うし、マスクをしている時にも水分補給などを忘れないようにと書いてあり、熱中症などにもならないように意識がしてあるのは良いと思った。	E	適度な運動・スポーツを行うことは、身体的及び精神的な健康を維持する上で必要なことですので、コロナ禍においても、安全に運動・スポーツをするポイントを押さえて、運動・スポーツを行うことを心掛けていきましょう。
20	新型コロナウイルスによって行動が制限され、運動をする機会が減っている今だからこそストレスが溜まることが多いため、屋外での活動などできるだけ感染しないような環境の中で運動をすることが大切だと考える。	E	適度な運動・スポーツを行うことは、身体的及び精神的な健康を維持する上で必要なことですので、コロナ禍においても、安全に運動・スポーツをするポイントを押さえて、運動・スポーツを行うことを心掛けていきましょう。
21	感染防止対策の3つの基本にマスク着用とあるが、2メートル以上の距離の確保が保たれる場合はマスク着用を強制しなくても良いのではないかと。	E	あくまでも、感染予防のための基本的な対応として記載をしております。 ご意見のとおり、激しい運動を行う場合など、マスクを着用したままでは、十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症になるリスクが考えられるため、マスクを着用しなくても安全に運動が行えるよう2メートル以上の距離を保つことが必要となります。その時の状況に応じて、対応をお願いします。
22	新型コロナウイルスの拡大によって地域の社会活動やスポーツ活動が低調になっており、そのことが心身の健康に影響を及ぼしたり、地域コミュニティの希薄化に繋がったりしていることを知り、新型コロナウイルスの影響はそのような部分にも及んでいるということが分かった。適度に体を動かすことは、自己免疫力の向上や体重コントロールといった体の基本的な働きを良くしてくれるので、生活していく上でとても大切なことだと思った。安全にスポーツを行うためにも、人との距離を保ちながら手洗いうがいをしっかりするなどして、一人一人が感染防止に努めなければいけないと思った。	E	適度な運動・スポーツを行うことは、身体的及び精神的な健康を維持する上で必要なことですので、コロナ禍においても、安全に運動・スポーツをするポイントを押さえて、運動・スポーツを行うことを心掛けていきましょう。
23	新型コロナウイルスが流行する中で、運動をする機会が減った人も少なからず増えたと思う。そんな中で、しっかりマスクをして運動するなどの対策の中で活動を行う事はとても良いことで、重要な事だと思う。これからどんな生活が続くか分からないが、この活動がもっと活性化してほしい。	E	適度な運動・スポーツを行うことは、身体的及び精神的な健康を維持する上で必要なことですので、コロナ禍においても、安全に運動・スポーツをするポイントを押さえて、運動・スポーツを行うことを心掛けていきましょう。
24	新型コロナウイルスが流行して、いろんな大会が中止になったりしている中、マスクをしたまま私達は体育を行っていた。少しでも走ると息苦しくすぐに外していたが、感染予防としてはマスクをしたままスポーツを行うことがいいと思った。 生涯スポーツとは、私たちの大学にも教科名としてあるが、今は元気なお年寄りでもスポーツを行っている人がいる。成人の運動率が70代が増えてきているなど元気で素晴らしいと思う。スポーツは身体だけでなく心の健康にも繋がるので、支援などが増えていけばいいと思う。	E	マスクを着用したまま運動・スポーツをすると、水分補給を忘れたり、体温が下がりにくいことがありますので注意してください。息苦しさを感じた時はすぐに外すことや休憩を取る等、無理をしないでください。 高齢者が地域の中でいつまでも健康で活躍できる環境づくりに取り組んでまいります。

●「ビジョンの基本理念と基本方針」に対するご意見

番号	意見要旨	区分	県の考え方
25	基本理念や基本方針は最適だと思う。基本方針の細かいところまで後のページにあり、実現への道に一步近づくと感じる。	E	本ビジョンに基づき、本県のスポーツ振興に取り組んでまいります。
26	生涯にわたりスポーツを推進していくという方針はとても素晴らしいと思った。人と場だけではなく、個人個人の時間の確保も必要だと感じた。	E	県民の皆様にはスポーツの大切さを知っていただけるよう、本ビジョンに基づき、本県のスポーツ振興に取り組んでまいります。
27	スポーツにおいて、生涯にわたって触れ合う、みる、支えるということはとても大切であると感じた。小さい頃からスポーツに触れ合うことは、すごく大事であると思う。 また、スポーツを通じて、色々な国の人と触れ合う機会があればそれはさらに良いことであると思う。そのため、アメリカのバスケットに触れる機会や、それぞれの国のスポーツに触れるというイベントを開催したりすることをしてほしいと思った。	B	本ビジョンに基づき、本県のスポーツ振興に取り組んでまいりますとともに、基本方針4の1の(3)「スポーツを通じた国際交流の推進や本県の情報発信」において、スポーツ交流の実施に取り組んでいくこととしております。
28	この意見に賛成である。県民の誰もが年齢や性別、障害の有無に関わらずスポーツに親しむようにしていくことはいい事だと思う。またこどものスポーツの機会がなくなっているため、生涯にわたって運動に親しむことが出来ることはいいことだと思った。	E	本ビジョンに基づき、本県のスポーツ振興に取り組んでまいります。

●「基本方針1 生涯スポーツの推進」に対するご意見

番号	意見要旨	区分	県の考え方
29	毎日9000歩は少し無理があるのではないかと。もう少し現実的に考えて少なくした方が良くと思う。	D	身体活動量と死亡率などとの関連をみた疫学的研究の結果からは、「1日1万歩」が推奨されていますが、県内状況を踏まえ、ながさき3MYチャレンジの目標は毎日9000歩としています。年代別、性別、個人毎に目標は変わるとは思いますが、まずは現在の歩数プラス1日1000歩を目標に取り組んでいただきたいと思います。
30	総合型地域スポーツクラブが長崎にあることを初めて知った。その中で幼児を対象としているところに興味を持った。保育者の立場になった時に、スポーツの良さや楽しさを正しい知識として教えて、積極的にスポーツに取り組む子どもたちが増えたらいいなと思った。	E	ぜひ、保育の現場で子ども達にスポーツの良さや楽しさを教えていただきたいと思います。また、総合型地域スポーツクラブの認知度向上のため、積極的な広報活動に努めてまいります。
31	今回、この素案を読んで長崎の住民の健康寿命は全国に比べて低いということ、長崎は高齢者が多いということ、歩数は女性は多い方が男性は少ないということなど、多くのことを知ることが出来た。健康寿命を伸ばすためにももっと運動する機会を増やしていくことが重要だと思う。マラソンの写真があったが、マラソンはとて面白いと思う。目標を作ることができ、その目標に向かって練習する。練習を続けることで自然と健康に繋がる。非常にいいイベントの1つだと思う。一方でマラソンは厳しいという人も少なくはないと思う。体力的な問題、足が不自由など。そういった理由で運動することに対してネガティブになり、自然と運動を避けるようになる。こういった人のためにももっと気軽に参加できるイベントがもっと増えたらいいと思う。具体的にいうとがんばらば体操をみんなでする機会を作るなど。ちょっとしたことかもしれないが、こういったイベントだと誰でも気軽に参加でき、少しでも体を動かす機会を作ることができると思う。このようにもっと気軽に運動出来るイベントが増えたらいいと思う。そうすることで健康寿命も今より延びると思う。	B	基本方針1の1「スポーツ活動への参加の促進」に記載のとおり、毎年開催している「県民スポーツ・レクリエーション祭」をより多くの県民が参加できるよう内容を工夫・充実した上で継続して開催するとともに、11月の「県民スポーツ月間」において、県民のスポーツへの参加機会を創出する取組を展開してもらえよう県内各市町に働きかけていきます。また、スポーツ実施率が低い子育て世代が親子や家族で参加できるスポーツ・レクリエーションイベントの開催や、誰もが気軽に参加できるイベントの定期的開催の実現に向けて取り組んでまいります。
32	週に一回運動が出来ない理由として面倒くさいからという理由があった。また30、40代では仕事や家庭が忙しいという理由があげられている。スポーツに関心があまり持っていないということが最も理由としてあげられていると思うが、自分の意見としてはスポーツをする権利はあるが長崎市内の施設を利用するとお金がかかり、また他の人が利用していると使えないという理由もあると思う。また、田舎などにはスポーツをする施設があまり無いため安全に運動が出来ないという理由もあると思う。	B	基本方針1に基づき、学校の体育施設や余裕教室の有効活用を推進するとともに、公共スポーツ施設と併せ、活用促進に向けた周知に取り組んでまいります。また、基本方針1及び4に基づき、本県の自然を活かした海洋スポーツやアウトドアスポーツについて情報発信を行うとともに、サイクルツーリズムを推進している地域において、走行環境及び受入環境の整備に取り組んでまいります。
33	成人の週1回以上のスポーツ実施率について、今回の調査(R2年度)は、60代を除き、前回の調査(H26年度)を上回ったものの、20代以外は全国平均を下回っているという調査結果だが、その理由として、全体では「面倒くさいから」というものが1番多く、30代と40代では「仕事や家事が忙しいから」というものが最も多い。女性(6.6%)が男性(2.4%)の2倍以上になった理由としては、「子どもに手がかかるから」というものが多かった。これに関して、親と子どもが一緒にできるスポーツの取組を学校で行うと改善されると考える。地域のスポーツクラブはどの年代も取り組めるが、あくまで個人が自主的に参加するものである。結果を見ると自主的に取り組んでいる方々が少ないように感じるため、学校で親の仕事が休みである週末などを使い、親子レクリエーションのようなものを開催すると、子どもの世話で忙しい母親たちにもスポーツの機会を設けられるのではないかと考える。	B	基本方針1の1の(1)「スポーツ活動の機会の充実」において、スポーツ実施率が低い子育て世代が親子や家族で参加できるスポーツ・レクリエーションイベントの開催に向けて取り組んでまいります。

34	<p>スポーツを週1回以上できなかった理由について、特に多かった「面倒くさい」「忙しい」という理由は、多くの人がスポーツを生活の中で優先順位の低いものだと捉えている表れだと思う。このことから、今後より多くの人に「スポーツは身近なものである」「時間を作ってでもスポーツをしたい」と思ってもらう必要があり、そのために私は今後より宣伝に力を入れていくことが効果的なのではないかと考える。</p> <p>本県では、多くの人がスポーツに親しむために様々な工夫がされており、今後さらにスポーツ分野が盛り上がっていくのだろうと強く感じている。しかし、私自身もそうだが、スポーツに関するイベント情報や様々な活動(クラブ活動など)の存在を認知している人が少ないように感じる。SNSを使ってより多くの人により多くの情報(イベントや活動の雰囲気、魅力など)を伝えると同時に、時間のない人でも楽しめる、どんな人でも大歓迎という姿勢をアピールしていくことが大切だと思う。そうすることで「やってみたい」という気持ちを後押しできると思う。また、可能であればテレビCMでも多く宣伝を行い、何度も多くの人目に映すことでスポーツイベントや活動の印象をより強めることができると考える。長崎県民にスポーツをより促していくには今後宣伝に力を入れていくことが有効的だと考える。</p>	B	<p>基本方針1の1の(2)「スポーツ活動への参加促進に向けた普及・啓発」において、スポーツに関して幅広く、SNS等を活用しながら情報発信に努めていくとともに、同2の(1)「総合型地域スポーツクラブの拡大充実」において、知名度が高いV・ファーレン長崎と連携して総合型地域スポーツクラブの認知度向上を図るなど、今後より一層、積極的な広報活動に取り組んでまいります。</p>
35	<p>総合型地域スポーツクラブへの参加について、会員として、指導者として、運営者としての三点が挙げられていたが、見るに關してのスポーツの関わり方が出来ないと感じた。</p> <p>今回の素案では、見るスポーツに關しての記載が少なかった。競技のルールを理解することやスポーツを見る機会を充実することは多々書いてあったが、それだけではスポーツに対して苦手意識を持っている人や興味がない人を取り入れることはできないので総合型地域スポーツクラブを通じて可能に出来ないと考える。</p> <p>例えば見に来てくれた人に対して楽しませることが出来るような仕組みが出来れば良いと思う。</p>	E	<p>県内の総合型地域スポーツクラブの中には、毎年、スポーツフェスタを開催して各種スポーツの体験会を実施したり、地域のイベントで普段の活動の成果を発表する場を設けたりとクラブの活動を見ていただく場を提供しているところもあります。</p> <p>また、子どもが参加している姿を見て、自らもクラブ活動に参加したり、支える側になられた保護者の方もおられます。</p> <p>クラブが開催するイベントや県が行う広報活動において、クラブの活動を見ていただく機会・知っていただく機会の創出に努めてまいります。</p>
36	<p>総合型地域スポーツクラブというのがあるのを知らなかった。周りでも同じように知らない方が多いと思う。また、長崎で何のスポーツが行われているかなど知るためにも、CMでの宣伝を行い、たくさんの参加者を募集するのはどうだろうか。</p>	E	<p>総合型地域スポーツクラブの認知度向上のため、積極的な広報活動に努めるとともに、国に対しても、総合型地域スポーツクラブのPR活動について要望を行ってまいります。</p>
37	<p>授業で総合型地域スポーツクラブの学習をするまで、このようなスポーツクラブがあることを知らなかったのので、この総合型地域スポーツクラブが住民にもっと身近なものになり、気軽に利用できるものになるとさらによいのではないかと考える。</p>	E	<p>総合型地域スポーツクラブの認知度向上のため、積極的な広報活動に努めてまいります。</p>
38	<p>成人の週1回以上のスポーツ実施率の数値目標は55%にしてはどうか。なぜなら、目標は高めに持つといい結果につながると思うから。また、55%くらいはいけると感じたため。</p>	D	<p>スポーツ実施率の数値目標については、本県の実態に応じた実現可能な目標を設定した上で、その目標を達成するための施策に取り組んでいくという考えのもと、令和元年度の全国実績53.6%を超える54.0%に設定しております。</p>
39	<p>若者だけではなく、お年寄りなど年齢を問わずに運動できることは健康やストレス発散としてとてもいいと思った。健康・体力づくりを続けていくことで、より多くの人々が活躍できる長崎になるのではないかと考える。長崎のこれからのためにもとても大切だと感じた。</p>	E	<p>全国平均を上回る速さで高齢化が進む本県においては、高齢者が地域の中でいつまでも健康で活躍できる環境づくりを進めることが必要となっています。</p>
40	<p>今日、地域の人々だけではなく長崎県全体においてスポーツをする環境や機会が少なくなっている気がする。そこでこの推進を目的とする様々な対策は非常に環境や機会を増やすことができるので、長崎にとってプラスに働くものだと思う。これを機にさらにスポーツと人を密接にできるものを考案して欲しいと思った。</p>	E	<p>本ビジョンに基づき、本県のスポーツ振興に取り組んでまいります。</p>
41	<p>長崎県では県民の人達が健康作づくりに取り組んで行けるよう、このような目標を持って取り組まれているということを知った。</p> <p>健康寿命を伸ばし楽しく過ごすということはほとんどの人が望んでいる事だと思うので、このように目標を掲げ、もっと県民の人達にこの取組を知ってもらえるようにすると思う。</p>	E	<p>健康寿命の延伸に向け、ながさき3MYチャレンジの普及啓発に努めてまいります。</p>
42	<p>「毎日3回野菜をとる」という文章だと誤った捉え方をする人が出てくるのではないかと。3回ではなく、3食または、3品という表記の方が正しく伝わるのではないかと考える。</p>	D	<p>ながさき3MYチャレンジの「毎日三回、野菜を食べて」は、朝食、昼食、夕食、間食もふくめた食事の機会、そのうち3回は野菜を食べて欲しいというメッセージを込め、専門家のご意見もふまえ平成30年度に決定したキャッチフレーズです。</p>

43	<p>大学生となり車を持つとなかなか歩く機会がなくなり、運動不足だと感じている。夏休み中には、車を使わずJRと徒歩で移動することが多かったが、とても良い運動になりコロナで外出できなかった分のリフレッシュをすることができていた。しかし、JRと予定の時間がまずまずでやはり車の方が融通がきく。そこで、ウォーカブルなまちづくりではまず公共交通機関との話し合いが必要だと考える。たとえば良い施設ができたとしても、若者の週一回の運動を行う割合が増えるとは思わない。また、長崎特有の坂道があるため自転車での移動も限られてくる。サイクリングはとても良い気分転換となり足の筋肉もほどよく使うことができると思うので、自転車が乗りやすい街づくりが必要だと感じた。</p> <p>商店街が浜の町に集中しているが、広い範囲で点在させることによって密を防ぐとともに店を見ながら歩く歩数も増えていく。韓国のように屋台を出して食べ歩きができるようなゾーンを作ることで同じく歩数を増やすことができるのではないかと思う。今はコロナで新しい生活様式が求められているが、それに対応しながらよいリフレッシュができる長崎県になればと思う。</p>	B	<p>県都長崎のまちづくりについては、歴史ある浜町のほかにも、長崎駅周辺、松が枝地区など様々な拠点整備を推進していきます。</p> <p>拠点間の回遊性を高めるため、公共交通機関とも連携を図るとともに、徒歩・自転車など様々な移動モードの活用をウォーカブルなまちづくりの中で検討していきます。</p>
44	<p>総合型地域スポーツクラブという名前を初めて聞き、こんな取組もあるんだと関心を持つことができた。最近ではスポーツ文化があまり浸透しておらず、週に一度も体を動かすことがない人もいるため、地域みんなが参加して繋がりが合えるような取組があつてとてもいいと思った。</p>	E	<p>総合型地域スポーツクラブの認知度向上のため、積極的な広報活動に努めてまいります。</p>
45	<p>総合型地域スポーツクラブについて存在すら知らなかったのも、もっとみんなが知れる機会が必要だと思った。バスの広告の中に貼るといいかと思う。</p>	E	<p>総合型地域スポーツクラブの認知度向上のため、積極的な広報活動に努めてまいります。</p>
46	<p>時代は進化し、便利なものが増えていく世の中で、人々の生活は楽に楽にの方向に向かっていると考える。私自身も、あまり体力を使いたくないのでどこか行くにはほぼ車で行くことが多い。健康のためにもスポーツは欠かせないので、長崎の町がより一層運動しやすい街になったらいいなと思った。</p>	B	<p>運動・スポーツについては様々な取組がありますが、身体活動量の増加に向けて快適な歩行空間の実現に努めてまいります。</p>
47	<p>県民のスポーツ実施状況について、今書かれていることに加え、スポーツ以外の所の問題（ワークライフバランスや子育てなど）とも連携していかなければ解決しないと考える。</p> <p>また、今のコロナ時代、特に高齢の方は、スポーツに伴う呼吸の深さから感染のリスクが高くなることも視野に入れながら、考えていかなければならないと思う。これからの長崎県がますます健康に、盛り上がっていくよう、長崎県民の1人として、願っている。</p>	B	<p>職場における健康づくりの取組推進や、子育て世代が親子や家族で参加できるスポーツ・レクリエーションイベント開催に向けて取り組むとともに、関係部署とも連携を図ってまいります。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の流行等社会情勢を踏まえ、高齢者の心身の特徴を念頭においた介護予防・健康づくりに関する取組を強化していきます。</p>
48	<p>生涯スポーツの推進によってスポーツをする人が増えると思う。その中で県民が参加できる大会を行うことはいいと思う。</p>	E	<p>引き続き、県民のスポーツへの参加機会を創出する取組を展開してまいります。</p>
49	<p>総合型地域スポーツクラブは体を動かす場になるだけでなく、地域の人々との関わりも活発になると思うのでとてもいい取組だと思う。しかし、私自身もこのような取組があることを知らなかったように知らない人がまだたくさんいるのではないかと思う。もっとたくさんの人に知ってほしい。</p>	E	<p>総合型地域スポーツクラブの認知度向上のため、積極的な広報活動に努めてまいります。</p>
50	<p>県民のスポーツを行う現状として、育児等の理由により、スポーツを行う人が少ないことから、誰でも面倒くさがらず、楽しくスポーツを行う機会ができるのではないかと考えた。</p>	E	<p>子育て中の方も気軽に楽しくスポーツを行える機会の創出に取り組んでまいります。</p>
51	<p>今、記載の内容に加え、障害の有無に関わらず真の意味での全ての人々が参加できるスポーツの場が有ればなお良いと考える。</p> <p>もちろん、それぞれに得意なこと苦手なことはある。それを踏まえて、スタートラインを公平にし、多様な人と交流しながらスポーツを楽しめる環境があると良い。</p>	B	<p>障害の有無に関わらずスポーツを楽しめる環境づくりとして、基本方針1の2の(4)「バリアフリー化の推進」に記載のとおり、既存の公共スポーツ施設について、高齢者や障害者も含め、誰もが利用しやすい施設となるよう関係団体と連携して課題の把握を行い、その解消に努めてまいります。</p>

52	<p>県民のスポーツ実施率がほぼ全世代で全国平均を下回っているところがある。私自身大学生になってスポーツをする機会は随分減ったと感じる。このまま歳を重ねていけばもっとスポーツに触れなくなっていくだろう。今自分がスポーツをしない理由として施設を借りるのが面倒くさい、道具を持っていないなどの理由がある。施設の予約方法としてネット予約を取り入れたり、道具の貸し出しを行うなどサービスの充実度が上がるといい。また、家庭を持ちこどもができてスポーツをする機会が減ったという意見があるので、こどもと一緒に参加できるイベントをたくさん開き、学校などに宣伝して参加を促していけばスポーツに触れられる機会は増えるのではないかと思う。</p>	E	<p>体育施設を利用する皆様が気軽にスポーツを楽しんでいただけるようなサービスの向上に努めてまいります。子育て世代が親子や家族で参加できるスポーツ・レクリエーションイベントの開催に向けて取り組むとともに、情報発信にも努めてまいります。</p>
53	<p>県内の高齢化の状況は、全国平均を上回る速さであり、その上、健康寿命が男女とも全国平均に至っていない状況であるのに、高齢者への取組が少ないと感じる。高齢者のスポーツ活動などへの参加を促すため、高齢者が気軽にできるスポーツやレクリエーションの普及及び推進を図るということで、長崎県ねりんピックや、総合型地域スポーツクラブなどの取組があるが、それらに参加するのは大抵、健康やスポーツに関心がある人で、基本的に元から健康なのではないかと思う。この取組が本当に必要な、健康に問題がある人などは、運動に興味がない人が多いと思う。そのためこういった情報も知られておらず、参加しないのではないか。また、健康に問題がある高齢者で、近年問題視されている地域からの孤立状態になっている人もいると思う。そういった状況ではなかなか地域の取組に誘われないし、行きづらと思うため、こういった高齢者のスポーツの機会を作るためには、地域問題も同時に考えていかなければいけないと思った。健康な人のための取組はもちろん大切だが、スポーツに縁のない人が、どうしたらスポーツに関心をもち、楽しんでくれるかというのをもっと考えなければ、現状はあまり変わらず、健康寿命の伸びにも繋がらないと思う。</p>	B	<p>高齢者の孤立防止や介護予防の取組として、高齢者の社会参加を促すための地域のネットワークづくり、通いの場の充実などを進めています。また、高齢者にスポーツを身近に感じてもらうための取り組みとして、バウンドテニス等のシニア競技の講習会や体づくり、介護予防等に効果のあるスクエアステップ運動等の体験会を実施しています。こういった取組を、高齢者の方々に広く知ってもらうため、広報誌等により参加者を募集するなど情報発信に努めてまいります。</p>
54	<p>10代のスポーツについては学校教育で対策を練ることはできると思うが、30代や40代のスポーツをする機会が取れない人たちに対する政策の具体的案をのせるべきではないか。</p>	B	<p>基本方針1の1の(1)「スポーツ活動の機会の充実」において、スポーツ実施率が低い子育て世代が親子や家族で参加できるスポーツ・レクリエーションイベントの開催や、誰もが気軽に参加できるイベントの定期的開催の実現に向けて取り組んでいくこととしております。</p>
55	<p>県出身のスポーツ選手を増やしたり、スポーツをする人の人口を増やすために取り組んでいったらいいと思う。</p>	E	<p>幅広いスポーツの情報発信等により、スポーツ活動への参加促進に向けた普及・啓発を行うとともに、各種事業により、スポーツ人口の増に努めてまいります。</p>
56	<p>総合型地域スポーツクラブをQRコードではなくいくつかの例を挙げて記載すると自分が住んでる地域のどこにあるかプリントを見ただけでわかるから変更した方がいいと思う。 Vファーレン長崎の試合観戦のチラシに観戦チケットが当たるイベントがあった。小学生の頃までしか配られていなかった気がするので高校、大学と幅を広げることで若者のスポーツ離れの解消にもなると思う。</p>	D	<p>スポーツビジョンの期間である5年間のうちに、新たに創設されるクラブや活動種目に変更があるクラブもあると考えられることから、随時、内容の更新を行っている県ホームページのQRコードを掲載することにしました。お尋ねのイベントは、長崎市が実施した招待事業のことと思われるので、長崎市ともご意見を共有させていただきます。</p>
57	<p>長崎県内で高齢化が進んでいることは知っていたが、県内の運動能力が全国平均を下回っていることは知らなかった。現在、新型コロナウイルスで密を避ける行動がとられているため、今回をきっかけに、外で行うウォーキングやジョギングなど、身近なスポーツからはじめて行きたいと思った。このような身近なスポーツを高齢者も楽しみながら行うことで、長崎県が笑顔で元気な町になると考える。</p>	E	<p>スポーツを通じた高齢者の体づくりや介護予防等に効果のあるシニア競技について、「新しい生活様式」に対応しながら、普及に努めてまいります。</p>
58	<p>運動はしたいと思うが、クラブチームに行くには勇気がいるし自分たちで体育館を借りたりするには人を集めたりしないといけないため、諦めることが多いので、地域でそれぞれの種目を順番に行えば参加しやすいと思う。</p>	B	<p>地域住民の日常的なスポーツ活動の場となる総合型地域スポーツクラブの拡大充実に取り組むとともに、誰もが気軽に参加できるイベントの定期的開催の実現に向けて取り組んでまいります。</p>
59	<p>住民のための地域スポーツクラブなので、QRコードだけではなく、もっと具体的に説明して、地域スポーツクラブを身近に感じてもらえるようにすべきだと思う。</p>	D	<p>スポーツビジョンの期間である5年間のうちに、新たに創設されるクラブや活動種目に変更があるクラブもあると考えられることから、随時、内容の更新を行っている県ホームページのQRコードを掲載することにしました。また、具体的な事例として、3クラブを紹介しております。</p>

60	スポーツを「する」「みる」「ささえる」人を増やすためには、SNS等を活用することでも大切な取組だと思うが、人と人が直接対面している状態で何か伝えていく活動(スポーツの体験活動など)があるとよりよくなるのではないか。	B	県民スポーツ・レクリエーション祭では、スポーツチャンバラやモルックなどが体験できるイベントを毎年開催している他、様々なスポーツ体験イベントが県内で開催されていますので、そのような情報についても、SNS等を活用した情報発信に努めてまいります。
61	最近、健康を維持するためのスポーツ活動を意識して様々なところで色んな取組がされていることを知った。私も機会があれば自分の興味のあるスポーツや活動に積極的に参加し、自分自身の健康の向上や生きがいを見つけていけたらいいと思う。	E	そのような機会を創出できるように、スポーツ活動の機会の充実に取り組んでまいります。
62	長崎県民の成人の週一回以上のスポーツ実施率が20代以外は全国平均を下回っていると知った。私自身、大学生になってから高校生までよりスポーツをしなくなった。さらに、今はコロナウイルスが世界的に問題になり、スポーツをする機会が失われているように感じる。そのため、健康のためにも運動をすることを心がけ、家で出来る運動やトレーニングをしていくべきだと思った。	E	適度な運動・スポーツを行うことは、身体的及び精神的な健康を維持する上で必要なことですので、コロナ禍においても、安全に運動・スポーツをするポイントを押さえて、運動・スポーツを行うことを心掛けていきましょう。
63	生涯スポーツの推進に取り組んでいると記載されているが、実際、私が生活している長崎県には若者がスポーツを気軽にできる場がないように感じる。だからもっと若者も気軽にスポーツをできる機会を増やしてほしい。	B	基本方針1の2の(3)「既存施設の有効活用によるスポーツ環境の整備」において、学校の体育施設や余裕教室の有効活用を推進するとともに、公共スポーツ施設と併せ、活用促進に向けた周知に取り組むとともに、既存施設や未利用地の活用方を検討するにあたっては、スポーツができる場所の新たな創出も視野に入れて進めていくこととしております。
64	最近新型コロナの影響でなかなか外に出る機会がなかったりして、国全体が運動不足に陥っていると思う。このような状況下で、健康や体力作りに関する情報が発信されたり、スポーツを楽しむ機会があったりするの、とてもいいことであると感じた。	E	今後も情報発信や、スポーツを楽しむ機会の創出に努めてまいります。
65	長崎県民の健康寿命は、男性71.83歳(全国30位)、女性74.71歳(全国28位)と全国的に見ても健康な方であるとは言えず、一日の歩行数の平均値も女性は14位だが、男性は34位とあまりいい結果ではない。坂が多い県であるため、ウォーキングなどに取り組みにくい環境であると言えるが、長崎さるくのコースなどを効果的に使い、健康寿命を上昇させたいものである。スポーツ活動の促進においても、学校や職場、様々なメディアを通して発信し続けるべきだと思う。長崎県には「がんばらば体操」があるので、それも活かせば良いのではないか。	B	基本方針1において、「ウォーカブルなまちづくり」の推進のほか、職場における健康づくりの取組推進、スポーツ活動への参加促進に向けたスポーツ情報の発信及び「がんばらば体操」の普及啓発に取り組んでまいります。
66	総合型地域スポーツクラブの会員数が年々増えてはいるが、若者に知られていないと思う。大学やSNSなど若者がよく利用するものでアピールしたら参加する人が増えるのではないかとと思う。このような取組が広がれば若者とお年寄り、子どもたちが交流する場ができ、より地域が活性化していくのではないだろうか。	E	総合型地域スポーツクラブの認知度向上のため、積極的な広報活動に努めてまいります。
67	ウォーカブルなまちづくりという取組に興味を持った。長崎県民の健康を促進するためとてもいい活動だと思う。特に、長崎は坂のまちとして有名であるため、それを生かしたまちづくりを行っていくといいと考える。また、新型コロナウイルスの感染拡大を避けるためにオープンテラスを利用するという考えはとてもいい提案だと思う。他にもランニングコースをつくったり、公園やグラウンドなどを増やしたりして、県民の皆さんが運動に少しでも興味を持つようになると、もっと良くなるだろうと思った。	B	坂を活かしたまちづくり、オープンテラスを活用した賑わい創出による身体活動量の増加について、ウォーカブルなまちづくりの中で検討を進めてまいります。

68	<p>大学の授業を通して、スポーツを発展させていくための方法の一つとして「総合型地域スポーツクラブ」があることを学んだ。年齢に関係なく参加できる点や、多くの種目の中から自分がやりたいと思ったものを選ぶことができる点から、その地域の交流の場になり、運動不足などの問題を防ぐことができるものだったと思った。</p> <p>長崎でも、NPO法人ALHがスポーツを通じた健康の保持増進を、NPO法人総合型SC長与スポーツクラブが学校運動部活動との融合、NPO法人コミュニティスポーツクラブTEAMひまわりが市民の健康・いきがい・仲間づくりを主に実施していることを初めて耳にした。3つともNPO法人主催のものであるという共通点も知ることができた。学んだことが、自分の街でも行われていることを知り、この項目に興味を持った。</p> <p>スポーツは、コミュニティの輪を広げたり、どんな人も参加することができ、また、運動不足解消や体力向上などといった健康問題の改善にもつながることだと思うので、人々の生活にとってスポーツは欠かせないものだった。</p>	E	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>総合型地域スポーツクラブの拡大充実及び認知度向上に取り組んでまいります。</p>
69	<p>平成26年度と令和2年度のスポーツ実施率を見ると年代ごとに上がっているが、全国的に見ると長崎はあまりスポーツが盛んではないように感じた。スポーツを向上させるためにもっと地域の大会を増やし経験を積む場所を多く設けたり、幼少期のスポーツに力を入れるべきだと考える。</p> <p>夕方にスポ魂というテレビ番組をよく見るがこのようなスポーツをもっと知ってもらえる機会を増やすことがスポーツに対するみんなの姿勢が変わってくるのではないかと思う。</p>	B	<p>基本方針1の1の(2)「スポーツ活動への参加促進に向けた普及・啓発」において、スポーツに関して幅広く、報道機関やSNS等を活用しながら情報発信に努めていくとともに、V・ファーレン長崎と連携した情報発信など、今後より一層、積極的な広報活動に取り組んでまいります。</p>
70	<p>長崎県民にかかわらず、大人になるにつれてだんだんとスポーツをする機会が減ってくる。書いてあったように女性は子育て、男性は仕事と忙しくなり、スポーツをする時間が作れなくなるからだと思う。その中でも時間を作って運動をしている人は偏見かもしれないが血行がよく元気で若々しく見える気がする。長崎県では家族で参加できるようなスポーツ・レクリエーションの開催だったり、長崎県独自で考えたがんばらんば体操などもあることを知った。がんばらんば体操は小学生のときに毎日踊っていた。私は体育委員だったため、みんなの前で手本として踊っていたため完璧に踊ることが出来た。ラジオ体操とはちがって思っていたよりリズムが早くているなところの筋肉を使っている感じがした。体操をするだけでも何もしないよりはいいので時間を自分でみつけて取り組みたいなどと思った。そして普段から電車やエレベーターにのらず徒歩や階段を使うことで日頃の運動不足が改善されると思った。</p>	E	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>「がんばらんば体操」の普及啓発に努めてまいります。</p>
71	<p>「ながさき県民総スポーツ祭」や親子で参加できるスポーツレクリエーションなどの、様々なイベントが長崎で定期的開催されていることを知り、とても魅力的だと感じた。しかし、私のように大学の課題で「長崎スポーツビジョン」のサイトを読むというきっかけがなければ、このような活動が行われていることすら知らずに過ごしている人が多いのではないかと思う。スポーツ実施状況によると、スポーツに関心を持っていない人が長崎には沢山いるようなので、一つのきっかけとして誰の目にも留まるCMなどのメディアを使ってもっと多くの人に長崎がスポーツに関してどのような活動を行なっているのかを知ってもらえるようにすれば良いのではないかと思った。</p>	E	<p>県の広報媒体を活用した周知を図るとともに、報道機関にも取り上げてもらえよう働きかけてまいります。</p>

72	<p>長崎新聞広報欄を見て、5月に予定されている県の障害者スポーツ大会の種目に、パラ馬術(障がい者馬術競技)がないことに驚いた。</p> <p>私は電動車いすを利用しているが、ホースセラピーという馬を使ったりハビリを経て、昨年から馬場馬術に転向して練習しており、コロナが落ち着き県を跨ぐ移動が可能になり次第、クラシケーションというパラ馬術競技における障がいのグレードを決めてもらうために兵庫県へ行くこともすでに決めている。</p> <p>ホースセラピーや療育乗馬をしている障害者事業所は佐世保市にも数カ所あり、長崎市や諫早市にもある事を確認している。そこを利用して馬に乗れるようになった障がい者は複数存在するが、パラリンピック正式種目のパラ馬術という競技に移行するシステムが今のところ県内にはない。そのシステム作りをするため、長崎県障害者スポーツ協会に相談し、長崎県パラ馬術協会を立ち上げることにした。</p> <p>あるパラ馬術アスリートの方は、脳性麻痺で子供時代からホースセラピーを受けてきて、3年ほど前から馬術に転向されたとのこと。</p> <p>長崎県の諫早農業高校には馬術部があり、馬術の国体選手から指導者になっている方も多いと聞くと、諫早馬事公苑やハウステンボス乗馬クラブ等がありながら、障がい者には門戸がまだ広く開かれていないことを残念に思う。また練習するための乗馬料金も高い。</p> <p>ぜひ障がい者馬術競技に関しても県をあげての選手の育成、指導者の養成、気軽に利用できるパラ馬術練習場を各市に確保して環境を整え、若手の有力選手を育ててほしい。九州に現在1人もいないパラ馬術アスリートが長崎県から誕生する可能性は高いと考える。</p>	E	<p>長崎県障害者スポーツ大会は共生社会の実現に向け、ノーマライゼーションの理念のもと障がい者スポーツを振興し、障がいのある人のスポーツ活動の日常化と競技力の向上を図るとともに、より積極的な社会参加と生活の質の向上に資することを目的に開催しております。また、全国障害者スポーツ大会の予選も兼ねております。</p> <p>本件は、一般社団法人長崎県障害者スポーツ協会にもお話をいただいていると認識しており、今後とも一般社団法人長崎県障害者スポーツ協会と連携して障害者スポーツの推進に努めてまいります。</p>
73	<p>生涯スポーツの推進は結構な施策と思う。佐世保市には10のスポーツクラブが有るが、入会するクラブは限られており、またスポーツの種類も限られており、希望のスポーツもない。スポーツクラブに限定せず、例えば、ボウリングの支援、又はゴルフの支援等、娯楽の延長でのスポーツなどを検討すべきでは。スポーツクラブ以外でも、市町村と連携して地域の公民館やコミュニティなどを主体とする生涯スポーツの支援が現実的である。誰もが気軽に参加できる生涯スポーツの支援/運営をお願いしたい。</p>	E	<p>佐世保市には県内最大の総合型地域スポーツクラブがあり、種目数は書道や語学の文科系も含めて、70を超えており、その中にはインドアゴルフも入っています。以前はボウリングを活動種目にしていたクラブもありましたが、ボウリング場の廃業に伴い、現在は活動種目に入っておりません。</p> <p>今後も市町と連携して、総合型地域スポーツクラブの拡大充実及び地域における指導者の育成等に取り組んでまいります。</p>
74	<p>スポーツ活動の促進について、誰もが気軽に参加できるような機会の充実や、スポーツ情報の発信、そしてがんばらば体操の普及はよい活動だと思う。自分はこれに時間を確保するための取組を入れたらいいと考える。どんなに参加したくとも、時間が取れずに参加を見送る人も一定数いると思うため、開催するイベントを一定期間開催する形にしたり、社会に呼び掛けて休みを取りやすくしたり、社のイベントという形にしてもよいのではないかと思った。もっと社会全体に認知されるように広報していくべきだとも思った。</p>	B	<p>基本方針1の3の(1)「健康・体力づくりの推進」において、就業世代の身体活動・運動を実践しやすい環境づくりのため、従業員の健康づくりに積極的に取り組む「健康経営」の推進等、職場での取組を推進してまいります。</p>
75	<p>資料にもある通り、全ての年代においてスポーツは身近なものであるとは言えない状況が続いている。私の年代からすると、大学生などはスポーツできる場所が身近にないことがスポーツをしなくなる原因であると考え。近くにある体育館であっても手続きがややこしく、それよりは他の遊びをしようという考えに至ってしまう。それ故に私は、場を充実することはもちろんだが、その場を気軽にそして手軽に使用出来る施策やルールを決めて欲しいと思う。</p>	E	<p>利用者の皆様が体育施設を気軽に使っていただけるようなサービスの向上に努めてまいります。</p>
76	<p>既存施設に民間活力を活かして、スポーツ公園化する等、積極的なりニューアルに取り組み、市民が気軽にスポーツができる環境の整備を促進してはどうか。</p>	E	<p>公園の役割は運動・スポーツに限らず様々ありますので、市民が気軽にスポーツができる環境の整備は利用者及び近隣住民の要望など地域の実情に応じた対応が必要だと思います。貴重なご意見として承ります。</p>
77	<p>がんばらば体操の普及啓発には賛成である。</p> <p>がんばらば体操は長崎で国体が開催された年には中学校の体育の授業で準備体操として踊った覚えがあるが、国体の翌年からは全く踊ることはなくなった。折角長崎らしさを沢山盛り込んだ体操なので、これこそ授業に取り入れたり地元のスポーツ大会で取り入れるなどしないともったいないと思う。「長崎出身の人はみんな踊れる」くらい体操が広がってほしい。</p>	E	<p>「がんばらば体操」の普及啓発に取り組んでまいります。</p>

78	ウォーカブルなまちづくりに賛成である。今はコロナ禍で思うように外に出歩きに行くことはできないが、「居心地が良く歩きたくなるようなまちづくり」は良いコンセプトだと思った。既に松山町付近の道沿いでは行われているが、道路沿いの道に花壇を作ったり、ハウステンボスのアンブレラストリートのような思わず歩き回って写真を撮りたくなるようなフォトスポットがあると、楽しんで歩くことができると思うため、若者や子どもがいる家庭の方々が積極的に歩きに出てくるのではないかと思う。	B	ウォーカブルなまちづくりでは、県民の皆様が楽しんで歩ける歩行空間の実現に向けて取り組んでまいります。
79	ながさき3MYチャレンジの名前と意味は良いと思う。しかし、内容と結びつけて覚えるには少し覚えづらさを感じる。ながさき3MYチャレンジ1,2,3,4のような名前であれば内容と名前が結びついて少しは覚えやすくなるのではないかと思う。長崎バスや電車の中に広告の紙やステッカー、または車内アナウンスでながさき3MYチャレンジのことを広めると、若者にはテレビよりも効果的だと思う。	E	ながさき3MYチャレンジは、令和2年度はテレビコマーシャルをはじめラジオや新聞、バスラッピング、バスの車内放送、SNS等での普及啓発を実施しております。今後も普及啓発に努めてまいります。
80	総合型地域スポーツクラブの取組について賛成である。多世代で交流ができる所にとっても魅力を感じた。色々な世代と沢山交流することで、その年齢層にしかないことだったり、知識であったり、スポーツ以外のことをスポーツを通して経験できるのはとてもいい事だと思う。このスポーツクラブを通して沢山の課題解決もされているので、これからも長崎の課題を解決出来たらいいなと思う。	E	総合型地域スポーツクラブの拡大充実のため、クラブに対する支援や、市町とクラブとの連携・協力関係の構築、クラブの認知度向上等に努めてまいります。
81	県内のスポーツ実施状況についてのグラフを見ると、週1でスポーツをしている県内の成人を見た時に、30~40代が全体的に少なかった。その理由として、「仕事や家事が忙しいから」という意見があった。たしかに30代から40代においては、仕事や家事・育児が大変でスポーツに目を向ける機会が減るの分は分かる。しかし、スポーツに関心がない無関心層に対するスポーツをする気にさせる施策という例が文章中にあった。私は、この文章を見て、スポーツに無関心なわけではないと思った。スポーツの時間を設けたいと思っている人は数多く存在すると思う。なので、その人たちの心の声に耳を傾けた対策が大切だと思った。	B	スポーツ庁による『スポーツ実施率向上のための行動計画』において、「スポーツを実施していない者について、その根底には無関心層の存在があることに留意する必要がある。そのため、まずは、スポーツをする気にさせる施策を実施し、その情報を的確に発信して無関心層に届けることが重要である。」とされており、無関心層に対する施策とともに、スポーツをしたいのに時間が無くてできない人に対する施策として、子育て世代が親子や家族で参加できるスポーツ・レクリエーションイベントの開催や、就業世代の身体活動・運動を実践しやすい環境づくりのため、従業員の健康づくりに積極的に取り組む「健康経営」の推進等、職場での取組も推進してまいります。
82	「4 障害者スポーツの推進」はとてもいいと思いました。	E	今後とも障害者スポーツの推進に努めてまいります。
83	このご時世でスポーツを大勢でも個人でも少なく、運動不足や体調管理に不安な部分が見えるが、3Myチャレンジをすることで、年に、月に、日によって、することがあり、実行することによって、健康に繋がると思った。こういうことこそ、メディアを通して広げるべきだと感じた。	E	ながさき3MYチャレンジは、令和2年度はテレビコマーシャルをはじめラジオや新聞、バスラッピング、SNS等での普及啓発を実施しております。今後も普及啓発に努めてまいります。
84	総合型地域スポーツクラブについて、わからない人にもわかるように詳しく述べてあって良いと思った。どこで行われているかなどスポーツができる場所をもっと示した方がよいのではないかと感じた。	D	スポーツビジョンの期間である5年間のうちに、新たに創設されるクラブや活動種目に変更があるクラブもあると考えられることから、随時、内容の更新を行っている県ホームページのQRコードを掲載することにしました。
85	県民のスポーツ状況は60代を除き前回は上回ったものの、20代以外は全国平均を下回っている。このことを改善させるためには、スポーツを習慣化させることが大切であると考えます。私自身、大学生になってから以前より運動をしなくなった。バイトを初め、高校時代よりも自分の時間が無くなり、スポーツをする時間がないということが1つの理由だが、めんどくさいと思っていない部分もある。スポーツが健康に与える良い影響は多くあり、スポーツをすることで身体はより健康になると考える。地域や学校などが協力してスポーツをする機会を増やす取組をしていけばいいのではないかと思った。また、一人一人の意識により変わってくることでもあると思う。スポーツをすることの重要性を再確認し、スポーツを意識して行えるようにしていきたい。	E	スポーツをするのが楽しくて、そのうち自然にスポーツが日常化し、結果として健康になっているというのが理想的だと考えますので、まずはスポーツをする機会の創出に努めてまいります。
86	「ながさき3MYチャレンジ」は、毎年健診を受けて健康を保ち、毎日歩き、毎日野菜を食べることでみんな健康寿命をのばそう！ということが伝わってきて、誰でも少しずつ始めることのできる内容であったことから、テーマに合っているなと思いました。	E	健康寿命の延伸に向け、ながさき3MYチャレンジの普及啓発に努めてまいります。

●「基本方針2 子どものスポーツ機会の充実」に対するご意見

番号	意見要旨	区分	県の考え方
87	幼児は、毎日60分以上体を動かすことが必要とされている点について、幼児は同じ遊びを何十分も続けることが難しいと思う。集中力は年齢によって異なっており、いかに楽しく毎日の運動・スポーツをしていくかが鍵になっていくと思うので、そういった意味での研修会はとても大切だと思った。他の園の保育者が集まり、どのような活動を行っているのか、同じ遊びでも違った工夫があるなど情報を共有し合うこともできると思った。	E	幼児期運動指針によると、幼児が楽しく体を動かす遊びを中心に、散歩や手伝いなど生活の中で様々な動きを含めた身体活動の合計が、毎日60分以上になることが大切であると示されています。このことを踏まえ、遊びや生活の中でできる工夫について、様々な保育者同士が互いに学び合える場づくりに努めてまいります。
88	スポーツに対する苦手意識は、おそらく年齢が低い時から根付いてくるので、中学校から体育の選択授業を取り入れると良いと思う。選択肢があればひとつのスポーツを無理強いわされず、自分に向いているものを選び、それがきっかけでスポーツが好きになるかもしれないため。	E	中学校学習指導要領では3年生からは「体づくり運動」「体育理論」の他は、選択となっています。
89	全国の体力調査では中学生は全国平均を上回っているが、小学生は全国平均を下回っているものが多い。その理由として運動時間の少なさが問題だと思う。休みの日に自分の家の近くの小学校を見ると、グラウンドで遊んでいる子供が全くいないことがわかった。せっかく運動が出来る場所があるのに室内でゲームをする子供が増えたことが問題だと思う。つまり、運動できる場所があるがしない人もいれば、運動をしたいが運動をするための場所や金がない人がいることがわかった。これらの点を踏まえた対策が新しく出来れば良いと思う。	B	ご意見を踏まえて、休日等も含んだ運動の場の確保と時間の確保をねらいとした対策に取り組んでまいります。
90	将来、保育者を目指している側としてこの項目は非常に大切なことだと思った。現在、幼児が遊べるような公園が少なくなっていることやコロナウイルスで外に出て遊べない状況になっている中、幼児の体力の低下や遊びがテレビゲームなどのゲームに向かって行っていると思う。幼児期にとっての遊びは生活の一部でもあるため、ゲームではなく、体を動かして遊ぶ方向にすることによって幼児の成長・発達を促されると考える。よって、「幼児期における運動・スポーツ活動の推進」の施策はとても良い考えなので、もっと発信していったいと思う。	E	幼児期は本来、直接体験から多くを学ぶ大切な時期です。しかし近年、ゲームなど視聴覚機材を介した遊び方が広がり、幼児の生活にも身近に深く入り込んでいることから、心身の健康や発育発達への影響が懸念される場所です。そうした時代の変化に応じ、平成29年改訂された幼稚園教育要領や保育指針等で示されるような、幼児に保障すべき環境や経験について、また幼児期運動指針のポイントについて、県としても、より一層の情報発信に努めてまいります。
91	1週間の総運動時間について、全国平均と長崎の平均を比べたところ、0時間の割合が全国平均より低いのに対し、7時間以上の割合は多くなっている。今後、7時間以上の割合を増やすよりも0時間の割合を減らすため、自分からもスポーツの楽しさや重要さを発信できるようにしたいと思った。	E	ご意見のとおり、0時間の子どもを減らすことができるよう、取り組んでまいります。
92	幼児期は「生きる力」を育成する大切な時期である。そのため、一つ一つの体育の学習での動きの目的を明確にし、指導者は援助していく必要があると思う。ただ口で説明して運動を行うのではなく、選手のDVDを見せるなどして運動のイメージをもたせ、意欲的に取り組めるような環境を整えることが大事だと思う。幼児期の運動、スポーツに対する意欲的意識は成長して大人になってからも続いていく。小学校、中学校、高校、大学、社会人と進んでいく上で、幼児期にどれだけ運動、スポーツに意欲的に取り組んできたかが重要になる。将来を見据えた教育をしていかなければならない。そして、運動、スポーツをすることは健康な体を作ることにつながる。今は医療技術が進み、高齢化の時代だが、健康で長生きを全員がしている訳ではない。1番いいのは健康で長生きをすることである。延命治療ではなく、自分の力で生きていける力を身につけるのは、幼児期からの運動、スポーツにかかっている。学習を充実させるためには、指導者の指導力の向上が必須である。そのため、指導者同士の意見交換や、指導者に対しての講義などを行い、指導者の指導力向上を図っていかねばならないと思う。地域との連携を行うことでも様々な刺激を貰えると思うので、幼稚園や小学校で地域のスポーツチームなどを紹介するような機会を設けたらより良いと思う。	E	幼児は、身近な環境に主体的に働きかけて遊ぶことを通して、生きる力の基礎となる資質・能力を身に付けていきます。いわば、自発的な活動としての遊びが、幼児にとっては学習です。ですから、ご意見のとおり、一斉指導的に説明を言い聞かせ既成のルールに従って大人が幼児に行なわせる活動は、幼児にとって学習といえる遊びではありません。また、幼児期運動指針のポイントの一つに「多様な動きが経験できるように様々な遊びを取り入れること」とありますが、あるスポーツに特化した指導が、必ずしも多様な動きの経験を保障できるとは言えません。幼児期にこそ必要な多様な動きを十分経験できるような遊びや環境の工夫が大切です。幼児が自ら働かかけるような人的物的環境をいかにつくるか、保育者の研修機会や情報の提供に努めてまいりますとともに、「生きる力」の育成を図る体育学習の展開において、指導者の指導力向上は必須であるため、指導者同士の意見交換や指導者に対する講義などに取り組んでまいります。

93	<p>本県の児童生徒は、持久力や敏捷性は優れているが、柔軟性などに課題がある。その原因として、生活環境の変化、生活習慣の乱れなどの要因の結果、子どもが体を動かす機会が減少していることが考えられる。また、児童生徒のスマートフォン、パソコン等による1日の映像の視聴時間が長時間になると体力合計点が低下する傾向があることが分かった。幼児期の運動面では、毎日60分以上、体を動かすことが幼児の発達において大切だとされているが、普通に体を動かすのは面白くない為、体を動かす際は楽しく体を動かすことが大切だと思う。そのポイントとして、「1 多様な動きが経験できるように様々な遊びを取り入れる」「2 楽しく体を動かす時間を確保する」「3 発達の特性に応じた遊びを提供する」の3つが挙げられていた。これらについて保育者がしっかりとこの3つを重点に置いた活動をもっと取り入れ、特に「体育授業の充実」と「運動習慣・生活習慣の改善」の2つを特に考えながら、様々な活動を行うべきだと思う。その他にも子どもたちの休み時間や放課後等の時間を児童生徒が有効に使い、体力の向上が図られるよう、器具や遊具施設を整備し、正しい使用方法についてもしっかりと教えるべきだと思う。</p>	E	<p>ご意見にあるとおり、「体育授業の充実」と「運動習慣・生活習慣の改善」の2つを重点として考えながら、取り組んでまいります。</p>
94	<p>本県の子どもは、持久力や敏捷性は優れているが、柔軟性などに課題があることから、その原因は都市化や環境の変化、睡眠や食生活の生活習慣の乱れからであることや、スマートフォンやパソコン等による映像の視聴時間が長いことであることから、私は、保育園・幼稚園・小学校の活動の中に体を動かす時間を多く取り入れることが重要だと感じた。体を楽しく動かすことのポイントとして、「多様な動きが経験できるように様々な遊びを取り入れる」「楽しく体を動かす時間を確保する」「発達の特性に応じた遊びを提供する」の3つが挙げられていることから、私は、保育園・幼稚園・小学校などで毎日一日の中で体を動かす時間を確保し、年齢にあったクラスみんなで楽しく遊べる遊びを用意し、将来必要になってくる力を遊びの中で身につけ、健康ないい体を作っていくことが大切であると考え。小学校など勉強で体を動かす時間が取れない場合は休み時間や放課後を使って全員遊びを行い、体を動かすことが大切であると考え。また、体力の向上が図られる鉄棒などの器具や、その使用方法を教育者が正しく教えることによって子どもの体力向上に繋がると考える。そして、体育の授業の内容を今課題となっている柔軟性に目を向け、マット運動などを取り入れ、子ども達の体に合わせた体育の授業を行うことが大切になってくると考える。運動習慣・生活習慣を改善するためには、教育者がまず子どものことを考え、一日の流れを考えるべきである。</p>	E	<p>幼児期は本来、直接体験から多くを学ぶ大切な時期です。しかし近年の生活様式が与える、運動を含めた遊び経験の不足、及び心身の健康や発育発達への影響が懸念されることです。そこで、ご意見にあるような幼児期運動指針のポイントをおさえた保育実践に今後も力を入れていただけるよう、各園に向け働きかけるとともに、運動の場の確保と時間の確保に取り組んでまいります。</p>
95	<p>「3 児童生徒の体力向上」(3) 指導者の指導力向上について、どのくらいまでの向上を目指しているのか具体的な内容が記述されているといいなと思った。</p>	D	<p>どのくらいまでの向上という設定が困難です。</p>
96	<p>小学校教諭を目指して勉強している学生であるため、部活動による顧問教員の負担について興味がある。インターネットで調べてみたが、なかなか対策が難しいと感じている。ここで革新的な提案を長崎で出せると長崎で子育てをしたと感じる家庭も増え、また長崎で教員になりたいと思う学生も増えると思う。私ももっと勉強して対策を考えられるようになりたい。全国的にどのような対策が取られているのか、そして長崎が今後どのような対策を取るのか関心がある。</p>	D	<p>革新的な提案をすぐに出すのは困難ですが、地道な取組とあわせてアイデアを集めたいと思います。</p>
97	<p>本県の児童、生徒は持久力には優れているが、柔軟性などに課題が見られるという部分や、子どもが体を動かす機会が減少しているという部分から、やはり本県の児童や生徒は運動を楽しむ子どもより運動が不足している子どもの方が増加していることが分かった。また、児童生徒のテレビ、スマートフォンなどのゲームやパソコンなどの映像の視聴時間と体力合計点の関係から、視聴時間が長時間になり体力合計点が低下する傾向があるということから、私は、テレビやゲーム、スマートフォンなどの時間ばかりとるのではなく、時間を決めて行うなどして、運動をする時間もとるべきだと思う。そのためにも、運動を楽しみながら行えるように、イベントを開催したり、大人数でも運動出来るような場所を設けたりすることが必要ではないかと思う。</p>	B	<p>ご意見を踏まえ、運動の場の確保と時間の確保に取り組んでまいります。</p>

98	<p>素案にもあったように、ここ数年でも私たちが小学生だった頃に比べ、現在の小学生は情報化などが進み便利な時代になった反面、地域や近所同士での関わりが減り隣人と遊ぶことなど運動の機会が減ったと思う。特に幼児期は運動能力などが1番発達する基盤となる時期でもあるため、運動は大切だと思う。個人の能力に合わせつつ、楽しく、かつ多目的な運動を取り入れていくことが必要だと思う。そのためにも、子どもたちが自ら運動したいと思えるような環境づくりをしていくべきだと思う。また、そのことはボランティアなどとしても出来ることだと思うので私たちもできることがあれば積極的に行っていきたい。</p>	E	<p>ご指摘のとおり、主体的に向かう態度はとても重要であり、工夫・改善に取り組んでまいります。</p>
99	<p>子どものスポーツ機会を充実させることに賛成である。私自身が幼い頃からスポーツが好きだということもあるが、子どもに教育する立場を目指しているため子どもたちにスポーツをする機会やスポーツの楽しさを伝えられるような教育者になりたいと思う。そのため、私たちのような子どもへの教育を目指す人達に対しての指導者への教育も充実させていく必要があると思う。だからこそ、講習会や研修会の実施はとても良い政策だと思う。私自身も参加できる機会があれば参加したい。また、幼い頃からスポーツに親しむことができれば、その子の未来の可能性も広げることが出来ると思う。もっと気軽に簡単にスポーツにかかわることが出来る場所やイベントが増えれば良いと思う。</p>	E	<p>ご意見を踏まえ、研修機会の充実や運動の場の確保と時間の確保に取り組んでまいります。</p>
100	<p>体力テストの結果を見ても一目瞭然だと思う。豊かな社会になっている分、より自らしたいと思うことを、特に運動面から探すべきだということを今の若者に伝えたい。また、大会だけではなく、普段体育界系のことをしていない若者たちにイベント等の機会を設け、体を動かす時間を増やすべきだと思う。</p>	B	<p>ご指摘のとおり、主体的に向かう態度はとても重要であり、工夫・改善に取り組んでまいります。</p>
101	<p>素案の通りで問題ないと思う。実際に子どもの教育の電子化は至る所で見られる。全体的な運動量も減少しており教育の仕方を改善すべきだと改めて感じた。</p>	E	<p>ご意見を参考に参考に参考にまいります。</p>
102	<p>今の時代は昔に比べて遊具が減っており、逆にスマートフォンなどが増えて子どもたちが体を動かすことが減っていると思う。だから今後このようなところを改善していく必要があると思う。</p>	E	<p>ご意見を参考に参考に参考にまいります。</p>
103	<p>最近では、いろいろな物が普及して、運動する機会が減るなど若者の運動離れが問題になっていて、そこでこの状況を変えるためにしなければならぬことを具体的に示して、見やすくわかりやすいと思った。</p>	E	<p>ご意見を参考に参考に参考にまいります。</p>
104	<p>長崎県の子供達の体力テストの結果をみて、全国平均より下がっている項目がいくつもあるところに目がいった。将来、教員になるという夢を持って大学生活を送っている大学生の立場から見ると、これからの長崎の子供達を活性化していくためには学校独自の取組だけでなく、県での施策もとるべきではないかと考える。私が小学生の頃、同じ市や町の子供達が集まって小体連をしていたのを思い出した。今でもそのような取組があつていてることを聞いたが、この新型コロナウイルスの影響で大会も中止になり、果たして2025年までに子供達の体力アップをはたせるのか疑問に思う。そのため、オンラインイベントで、有名な長崎出身の選手らに子どもたちと一緒に体を動かすイベントなどを開いてみてはどうか。</p>	C	<p>オンラインイベントというご提案をいただき、ありがとうございます。コロナ禍における取組としても必要な考えですので、具体的な取組の中で、参考にさせていただきます。</p>

105	<p>「幼児期の運動遊び」をテーマに講義と実技を組み合わせた研修会を開催した結果、良い成果が見られたのはとてもいいことだと思った。私も保育士を目指しているので、このような研修会に参加して子どもたちが楽しみながら身体を十分に動かせるような指導ができるようになりたいと思った。</p> <p>幼児期における運動活動を推進する上で、保育所や幼稚園での指導を向上させるのはとてもいいことだと思うが、そのような施設以外でも幼児期から伸び伸びと身体を動かすことができるように公園などの安全な広い場所に年齢が低い子でも遊べるような遊具を設置すると思う。大体の公園の遊具には安全に遊べるように年齢制限が設けられているが、それは5歳や6歳からといったおよそ就学児から安全に遊べる遊具ばかりである。なので運動能力がだいぶ発達する2歳くらいの子どもでも安全に遊べるようなちょっとした遊具を多く設置すると外で遊ぶ習慣も身につく、子どもが体を動かすことに興味をもつきっかけになると思う。</p>	E	<p>県が管理する百花台公園には未就学児を対象とした遊具を複数導入しておりますので、今後ホームページ等を活用し積極的に広報を行ってまいります。</p> <p>身近な公園の多くは県内市町の管理する公園となりますが、利用者及び近隣住民の要望など地域の実情に応じた対応が必要と思います。貴重なご意見として承ります。</p>
106	<p>15ページの「3 児童生徒の体力向上」の内容は自分のこれまでの経験と結びつくものがあり、イメージすることが出来た。「(1)指導体制の確立に「体力向上アクションプラン」の作成と実施を促し、体力向上に向けた取組のPDCAサイクルの構築に取り組むとあるが、私自身の小学校でも冬のマラソン大会の練習で目標を立て、一日ごとに練習の記録を残していた。日々記録が伸びていくことに喜びを感じていたことを思い出した。出来たこと、出来なかったことをそのままにするのではなく、なぜ出来たのか、出来なかった原因は何か振り返り分析することで次に向けて工夫したり、同じ失敗を繰り返にくくなることを実感した。この体制をしっかり確立し子どもの体力向上につながることを願う。</p> <p>また、「(2)児童生徒及び保護者の体力向上にかかる啓発」に本県の課題である柔軟性の向上と書いてあり、私が中学校の時は体育の授業で最初の準備体操の後に柔軟のストレッチをして少しでも一人一人の柔軟性が上がるよう工夫されていた。ストレッチを毎日コツコツしていくことで柔軟性は上がっていくので楽しくストレッチを続けられるような取組が必要だと考える。「フィットネスながさき」を取り入れるとあるが、多くの人にこの取組を知ってもらうことがまず必要だと感じた。</p>	B	<p>ご意見のとおり、体力向上アクションプランについて、出来たこと、出来なかったことをそのままにするのではなく、なぜ出来たのか、出来なかった原因は何か振り返り分析するなどの視点は大変重要だと考えます。また、柔軟性の向上についても楽しく続けられるという取り組みについて工夫していきたいと考えます。</p>
107	<p>フィットネスランニングながさきは良い活動だと思うので積極的に取り入れて良いと思う。個人・集団で争いながら出来る機会を学校や町や県がもう少し多く設けると子どもの体力向上に繋がると思う。また、遊びやスポーツの環境を整えるのも大切だと思う。学校・施設以外でみんなが自由に遊べる公園等が減っているのも体力低下の原因だと思う。また、身近な家族も積極的に参加することも大事だと思う。小さい時から色々な種類の遊びやスポーツに多く触れるべきだと思う。</p>	E	<p>今後も幅広く活用していただけるよう取り組んでまいります。</p>
108	<p>現代の長崎を含めた日本では、様々な理由により、子どもが体を動かす機会が減少しており、体力の低下が問題になっていると耳にしたことがある。そこで、学校において、部活に所属している子どもたちの強化はもちろん、体育の授業内容をより充実させることによって、二極化を防ぐことが出来るのではないかと考えた。</p>	E	<p>素案のとおり、体育授業の充実に取り組んでまいります。</p>

109	<p>素案のままで良いと思う。</p> <p>学校の体育の授業でスポーツに興味を示すことがあると思う。体育で知ったことをきっかけに部活動に所属するケースや生涯するスポーツに出会うことがあると考えられるので出来ることなら体育の授業で扱うスポーツの種類を増やすことが出来れば、興味のない子も1つは見つけること出来ると思った。</p> <p>小中学校の運動部活動の活性化は非常に良いことだと思った。少子化や都市化が進む中、子どもたちが運動する場所や時間は限られ、スポーツをする機会が減ってきていることから仲間の確保が出来ている部活動はスポーツをする絶好の場となると思ったから。しかし、子どもの減少は部員の減少にも関係して活性化すべき部活動そのものが無くなるのが予想される。このことの対応として総合型地域スポーツクラブとの連携とあったが、総合型地域スポーツクラブが存在しているという情報は知れ渡っているのだろうかと疑問に思った。</p> <p>子どもたちの成長発達のために必要とされるスポーツをすることが体育以外にない子がスポーツを楽しんで出来る授業になればそれ以上のことはないと思った。</p>	E	素案のとおり、取り組んでまいります。
110	<p>幼児期の運動は子どもたち自身が楽しむということが大切だということにとても共感した。そのために運動を遊びに取り入れることはとても効果的だと思った。また、運動遊びは集団で行う遊びが多いため、遊びにルールを設けたり、子どもたち自身がそのルールを改善し、変化させて楽しむことでより効果的な運動遊びになると思った。保育者が運動遊びの知識をつけることと、どのようにすれば子ども自身が主体的に遊びに取り組むかを考えることが大切だと思う。</p>	E	<p>幼児期運動指針に基づき、幼児が発達の特性に応じ楽しく体を十分に動かして多様な動きを経験できるよう、遊びや環境の工夫をすることが大切です。そうした保育実践につながるよう、今後も保育者の研修機会や情報提供に努めてまいります。</p>
111	私もスポーツをしてみようと思いました!!!	E	スポーツに興味・関心を持っていただけるような施策の充実に努めてまいります。
112	<p>今の現状としては、全国的に屋外での活発な運動を喪失する傾向にある。生活環境の変化や、生活習慣の乱れなどから十分に体を動かす機会が減ってきている。また、都市部では遊び場がない、農村部では友達がいない、習い事が忙しく遊ぶ暇がないなど、子どもにとって体を動かす機会として遊びがあるけど、それすらもできない状況にある。屋外に出る子どもが減少し、ゲーム機やスマートフォン、テレビに時間を費やす子どもが増加している。運動をしないと体の成長にも良くないし、心の発達の障害にもつながると思うので、意欲的にスポーツや運動ができる施設を設けるべきだと考えます。</p>	B	ご意見を踏まえ、運動の場の工夫と時間の確保に取り組んでまいります。
113	小中学生の運動時間が年々低下しているので、コロナの状況も考えて、地域全体でスポーツ大会を実施してみたい。	E	コロナ禍において一定の制約があるものの各種大会・イベントが可能な限り開催できるよう、体育施設での感染症対策を引き続き行ってまいります。

●「基本方針3 競技スポーツの振興」に対するご意見

番号	意見要旨	区分	県の考え方
114	<p>現在、小・中などの若い年代のスポーツのクラブチームが年々増加していると思うが、その反面、学校内のクラブ活動、部活動のチームのメンバー数、部員数が減少しているような気がしている。クラブチームよりも身近な部活などが休部になってしまったり無くなったりというのは、スポーツに少し興味を持った子たちにとってやりたいと言いつらい環境になっているのではないだろうか。</p>	E	<p>少子化に伴う学校部活動数や部員数の減少が大きな課題と受け止めております。今後も部活動未設置競技等の各種事業やイベントの支援を継続し、スポーツに興味・関心がある子どもたちの夢と希望のために、本ビジョンに基づき競技団体や関係機関と連携し、スポーツ環境の整備に努めてまいります。</p>
115	<p>現在、本県でさまざまな競技スポーツが実施されているなかで、若い世代の人たちがもっと多くの競技について知るべきだと思う。例えば、学校体育で実施されている競技や地域で行われているスポーツ、オリンピック実施競技となった競技の普及をするために、その競技の有名な選手や先生を招いたイベントを実施し、より多くの県民に興味を持ってもらい、実際に体験してもらおうことで、競技人口を増やすことができると思う。コロナ禍である現在はなかなか難しい状況ではあるが、検討してほしい。</p>	E	<p>現在、競技団体や学校等において日本代表選手やコーチを本県へ招いて各種イベントや体験事業等を行っています。県民の皆様が、スポーツへの興味・関心をもつていただくために、各種イベントや本県選手の活躍等の広報活動に努めてまいります。</p>
116	SNSを活用したPR活動で、今まで知らなかった競技について知ることが出来て、よりスポーツに触れ合うことが身近になっていいと思う。	E	本ビジョンに基づき、本県選手や競技団体の活躍等の広報に努め、本県のスポーツ振興に取り組んでまいります。

117	長崎には実力があり、能力のあるスポーツ選手が多くいると思う。だが、環境が整っていなかったり指導者がいないことが問題視されている。それによって力を発揮できず、九州や全国で勝ち上がれる選手育成ができていないと思われる。選手の可能性を失わないように、環境を整えることと指導者の手配をすることが必要だと思われる。	B	基本方針3の2の(1)「育成・強化体制の充実」において、各年代に応じた強化体制の充実を図り、併せて指導者の確保と資質向上に努めていくこととしております。
-----	--	---	--

●「基本方針4 スポーツを通じた地域の活性化」に対するご意見

番号	意見要旨	区分	県の考え方
118	海外ナショナルチームのキャンプ受入れを通じて実際に国内外への合宿地としてのPR効果もたらされたという結果は、日本にとってだけでなくこれからの長崎県にとってもとても良いことだと思う。	E	ご意見ありがとうございました。
119	コロナ禍でスポーツツーリズムによる観光振興は難しいと考える。 2019年に日本で行われたラグビーワールドカップによるスポーツツーリズムは有名な成功例だが、コロナ禍では、県外のスポーツチームや観光客の誘致を図るより、県内の各スポーツの人員を増やし、県内のスポーツ振興を高めることを優先すべきではないだろうか。そのためには、スポーツを行いやすくするための、施設の料金や備品の見直し、各体育館の積極的解放を行っていくべきだ。	B	本ビジョンに基づき、誰もが利用しやすく時代に即した施設・設備の充実にも努めてまいります。
120	スポーツを気軽に行う施設が少なかったり、合宿場などの施設が多くない、もしくは、環境が整っていないため、プロの選手などが来にくいところになっていると思う。プロの選手などが来ると、長崎県のスポーツ振興にも繋がり、環境を整えることで一般の方も体を動かすことができ、健康な体づくりができると思う。	E	いただいたご意見も踏まえ、今後ともスポーツ合宿の誘致活動、受入体制整備等に積極的に取り組んで参ります。
121	V・ファーレン長崎のホーム戦の時は、他県からの観客者も訪れ賑わうようだが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、無観客試合が行われていた。この間、選手達はどの様な思いでプレーをしていたのか、やはりサポーターの声援が必要ではないのかと考えた。一刻も早く元の生活に戻り、サポーターの声援のもと、選手達が精一杯プレーができる環境になればと思う。そして、スポーツを通じて地域が盛り上がる事を願う。	E	県としましても、試合開催日の広報や県民応援フェアの開催、また県内すべての自治体とV・ファーレン長崎で組織した自治体連携会議において、V・ファーレン長崎の地域貢献活動と各市町との連携を強化するなど、様々な取組を行っております。そういった取組を通して、県民がさらに一丸となって応援する機運醸成に引き続き努めて参ります。
122	スポーツは年齢や性別に関わらず、楽しむことができるものだと考える。例えば、スポーツができなくても、観戦をすることはできる。観戦をするだけでも楽しめる。海外チームキャンプ等の誘致の増進やプロチームとの触れ合いは地域活性化に繋がると思う。私のような観戦するだけの人でも、身近な所でこのような取組がされていたら興味を持つと思う。少なくとも私はそうである。長崎で国体があった時、中学校で試合を見に行った。その時とても楽しかった思い出がある。取組の様子をテレビで紹介したり、ネットやSNSを使ってもっとPRすれば更に皆に興味を持ってもらうことができ、地域活性化に繋がると思う。また、観戦して実際にその競技をしてみたいと思うかもしれない。普段スポーツをしない人でも、してみたいと思える機会があれば、スポーツをする人が増えるのではないかなと思う。	E	いただいたご意見も踏まえ、今後もスポーツの振興に取り組んで参ります。

123	V・ファーレン長崎は長崎のために戦ってくれていて、昨年は天皇杯ベスト4、今年はリーグ3位と活躍しているが、V・ファーレン長崎のファンやサッカー好きなど、まだまだ狭い範囲だけでしかV・ファーレン長崎の勇姿を見てくれていないという現状があると思う。実際、自分の周りにもV・ファーレン長崎の名前だけは知っていて、選手の名前や活躍を知らない人が多い。新規のファンや知名度をもっと上げるためにも、長崎全体でもっと推奨していった方がいいと思う。スタジアムの周りにあまり商業施設がないので、中心部にスタジアムができた時は県外のチームのファンが足を運んでくれて、もっとお金を使って貰えるような施設作りをして欲しいと思う。県外のチームのように県とチームが密接に関わって県全体で盛り上がったらいと思う。とはいっても、日本本土最西端の長崎で、新幹線も通っておらずアウェーチームのサポーターが県外からくるのはとても大変なことや、今のコロナ禍では沢山の問題があり、簡単なことではないと思う。これからのV・ファーレン長崎の更なる飛躍と長崎スタジアムシティプロジェクトの成功、また新しく発足した長崎ヴェルカの活躍を心から応援している。	E	県としましても、試合開催日の広報、県庁でのパブリックビューイングの開催、県民応援フェアの開催、またV・ファーレン長崎と県内すべての自治体とでV・ファーレン長崎自治体連携会議を組織し、V・ファーレン長崎の地域貢献活動などにおけるすべての自治体との連携を強化していくなど、様々な取組を行っております。そういった取組を通して、県民一丸となって応援する機運醸成に引き続き努めて参ります。また、長崎スタジアムシティプロジェクトについては、サッカースタジアムを中心にアリーナ・オフィス・商業施設・ホテルなど様々な施設を周辺に開発する、高い経済効果が見込まれる民間主導のプロジェクトです。県としましても事業主体である株式会社ジャパネットホールディングスと連携して、スポーツを活用したまちづくりに取り組んで参ります。長崎ヴェルカについても、V・ファーレン長崎と同様、同クラブと連携し、県民一丸となって応援するような機運醸成に努めて参ります。
124	長崎スタジアムプロジェクトについて、もう少し詳しく教えていただきたい。(ニュースやCM、ポスターなど)理由としては、スタジアムが出来る予定だということを知らない子どもたちも多いと思うので、それを知ればスポーツの向上心にもつながると思うから。	E	今後、事業主体である株式会社ジャパネットホールディングスから事業の進捗に応じた情報が発信されていくと考えますが、同社と連携した取組等については県からも周知してまいります。
125	基本方針4を読んで、あまり若者がスポーツに関心がない世の中でどのようにスポーツに関心を持たせるかや、スポーツを行う場所について具体的に解決策を述べているなど感じた。特に印象に残っているのは、受入体制の整備についてで、スポーツビジョンには、長崎県スポーツコミッションと県内自治体、競技団体等が連携し、スポーツ合宿・大会における企画・運営担当者や対応スタッフの育成を行うなど、選手が快適に過ごせるような受入体制の整備を推進します。とあり、選手のことを一番に考えていることが読み取れ、同時にスタッフの育成も行っていくところに感銘を受けた。また、コロナの対策についても述べており、しっかり考えられているなど感じた。二つ目はリピーターの確保についてで、スポーツビジョンには、合宿参加者の満足度を向上させリピーターとしての定着を図るため、県内自治体や長崎県スポーツコミッション、競技団体、宿泊施設等との連携により、これまでの受入ノウハウを活用した受入体制を構築します。とあり、一時期スポーツ人口を増やすだけでなく、継続的にスポーツ人口を増やしていくことを視野に入れて行動していることが読み取れた。また、スポーツを通して地域を活性化させるためにどのくらい予算を費やすことができるのか、さらに予算の使い道の内訳についても知りたいと思った。	E	ご意見ありがとうございました。もし、取組に関してさらに深くお知りになりたいということでしたら、県スポーツ振興課や長崎県スポーツコミッションへ気軽にお問合せください。
126	現在長崎県に本拠地を置くプロスポーツチームはV・ファーレン長崎しかない。現在は多くのスポーツでプロリーグ(Jリーグ・Vリーグ・Bリーグ・Tリーグ・プロ野球など)がある。そのため、長崎に本拠地を置くチームを増やしていくと地域の活性化につながると思う。	E	V・ファーレン長崎は県内唯一のプロスポーツクラブとして活動されてきましたが、この度、プロバスケットボールクラブである長崎ヴェルカが設立され、2021-2022シーズンのBリーグ参入に向けて準備を進めております。県としましても、V・ファーレン長崎と同様、クラブと緊密に連携して、県民一丸となって応援する機運醸成に取り組む、地域活性化につなげて参ります。
127	長崎県のプロスポーツクラブを創設して盛り上げていくことで、地域の活性化へつなげるという取組に賛成である。理由はスポーツには新型コロナウィルスの影響で暗くなった社会を明るくする力があるということを感じたから。だから、スポーツをもっと盛り上げていって、より多くの人や地域に元気を与えて欲しいと思った。	E	今後、新たにプロスポーツクラブが創設されることになった際には、V・ファーレン長崎と同様、クラブと緊密に連携して、県民一丸となって応援する機運醸成に取り組む、地域活性化につなげて参ります。

●「今後5年間に予定されている主な競技大会」に対するご意見

番号	意見要旨	区分	県の考え方
128	今後5年間の競技大会の表は目安がよく分かって参考になる。	E	ご意見ありがとうございます。

129	成人の週一回以上のスポーツ実施率が20代以外は全国平均を下回っているとあり、ほかの世代でも運動をさせ、健康を保つためにはもっとマラソン大会など色々な競技大会があれば良いと思う。今後5年間に予定されている競技大会を見て、県内で開催されているものが少ないと感じたので市内ではなくても伊王島や五島など色々な場所で大さんの人が参加出来るようなものがあればと感じる。そういった機会が増えれば参加する人も増え体力の増進に繋がると考える。	E	伊王島では「ツール・ド・ちゃんぽん」というサイクリングイベントが、五島では「五島つばきマラソン」や「五島長崎国際トライアスロン大会」など、県内各地で様々な競技大会が開催されております。本ビジョンには、上記のような例年開催される大会については記載しておりません。
130	今後5年間で予定されている主な競技大会について様々なイベントが書いてあったが、ウィズコロナの時代ということもあり、具体的な感染予防対策法を明記していないと、開催することができても、観客を集めることが少し難しくなってくるかと思った。また、最悪の場合、延期、中止せざるを得ない状況にもなってしまうかもしれない。そうならない為にも、数年後の話でも今のうちに具体的な感染予防対策法を考え明記して、実現していく必要があるのでは無いかと思った。	D	今後予定されている競技大会は、各大会主催者において適切な感染症対策を講じた上で実施されるものと思います。基本方針4の課題にも掲げているように、本県のスポーツ合宿や大会の誘致のほか、あらゆるスポーツシーンで感染症対策は不可欠となってくるものと考えています。

●「eスポーツ」に対するご意見

番号	意見要旨	区分	県の考え方
131	eスポーツは約半数が知っているにも関わらず、スポーツではないと感じている人が多いことについて、eスポーツというゲーム感覚のスポーツを通してゲームだけで終わらず、スポーツの楽しさを知ってもらい、もっと体を動かすことに興味を持ってもらうような気軽に参加できる行事を地域で取り組んでいくといいと思った。陸上競技場に行く広告が貼ってあり、行事について知ることができるが、普段から行く人は運動している人なので、広報誌だけでなく、回覧板や学校で子どもに宣伝の紙を配ったりすると、地域でどのようなことが行われているか知ることが出来る人が多くなると思う。	E	eスポーツを“スポーツ”と定義すべきかについては、現在、スポーツ関係者においても議論が交わされているところです。いただいたご意見も踏まえ、今後も議論を重ねながら、eスポーツがもつ可能性についての情報収集や、関係団体との連携を図ってまいります。
132	パソコンやインターネットへの苦手意識が高い高齢者が多いと思われる。また、eスポーツをするために機材などが必要になる。手軽に始められるものでなければ広く広まることはないと思う。	E	いただいたご意見も踏まえ、今後も議論を重ねながら、eスポーツがもつ可能性についての情報収集や、関係団体との連携を図ってまいります。
133	eスポーツはスポーツに含むのではなく、eスポーツとして新たなジャンルを作る方が相応しいと思う。ルールを知ることやスポーツに興味を持つきっかけになるかもしれないが、問題視している長崎県の健康寿命が平均を上回ることに繋がるかと思うから。今後、eスポーツをスポーツの1つとして推薦していくとゲーム好きな人が実際に体を動かそうとするきっかけを無くしてしまう可能性もあり、また、若者にはeスポーツの方が人気が出てしまい、さらに平均寿命が全国平均を下回る結果に繋がってしまうと思う。やはりスポーツは見るのも実際に競技するのも画面上ではなく地上で行う方が興味を持つきっかけに繋がったり平均寿命を伸ばすことに繋がると思う。eスポーツを推薦するのなら、スポーツとしてではなく、eスポーツとして推薦するのが相応しいと思う。	E	eスポーツを“スポーツ”と定義すべきかについては、現在、スポーツ関係者においても議論が交わされているところです。いただいたご意見も踏まえ、今後も議論を重ねながら、eスポーツがもつ可能性についての情報収集や、関係団体との連携を図ってまいります。
134	私はそんなにスポーツは好きでは無いし、体育以外でスポーツに取り組むこともそう多くないが、eスポーツの存在をこの素案で知り、興味を持ったのでこのコロナの時代にオンラインで取り組んでみたい。	E	ご意見ありがとうございました。
135	eスポーツについてあまり興味がなかったが、さらに深く知ろうと思うきっかけになった。今まではeスポーツをただのゲームだと思っていたが、スポーツを始めるとなると、障害を持っている人でもスポーツに携われることができる唯一無二のものであると感じた。eスポーツは色々な大会があって毎年全国から、優勝を目指したくさんのeスポーツプレイヤーが集まってくる。オリンピック競技に正式登録されるのも近いと思う。ゲームは自分も好きなので、機会があればeスポーツの大会に行ってみよう。	E	ご意見ありがとうございました。

136	<p>近年、コンピューターゲームを用いた競技eスポーツが注目されつつあるとよく耳にするが、「eスポーツ」といった名前はきくものの、詳しい内容は知らない。だが、ゲームをすることは私自身も好きなので、興味はある。長崎県民のeスポーツに対する意識調査では認知度は64.8パーセントとある様に、それなりに数値は高いと思う。しかし、eスポーツをスポーツだと思ふかという質問では約75パーセントの人があまりそうは思わない、又は全くそうとは思わないと回答している。私はスポーツであると思う。だが、スポーツと言えば汗をかき、身体を動かすというイメージがあるので、まだ完全にスポーツだとは私自身も言い難い。と言っているこのご時世、簡単に家から出て、大人数でスポーツを楽しむという事は安易な事ではない。だからこそもっとeスポーツは普及していいと思う。eスポーツの収入だけで生活しているという選手がいるということを知ったことがある。スポーツ選手同様に得意な事であるゲームで生きていく、それも今の時代ではありなのではないかと考える。課題にもあるように、ゲーム依存になっては話にならないが、適度なゲーム時間をつくり、自分なりに制限が出来れば問題は無いと私は思う。eスポーツの可能性にもあるように、スポーツに興味のない人にもゲームをきっかけにスポーツに興味を持ってもらうことが出来、身体運動が体の不自由によりできない人にも楽しんでもらえる、老若男女にも楽しんでもらえ、オンラインでも開催できるなどと、利点は運動スポーツに比べて多いと思う。結果長崎県でももっとeスポーツを広めてもいいのではないかと考える。</p>	E	<p>いただいたご意見も踏まえ、今後も議論を重ねながら、eスポーツがもつ可能性についての情報収集や、関係団体との連携を図ってまいります。</p>
137	<p>eスポーツの概要について「マウス・キーボード・専用コントローラーといった手による操作に限定されるeスポーツをスポーツと定義すべき…以下略。」これは私個人的にはスポーツと定義していいのではないと思う。理由は、トランプや囲碁、将棋などはスポーツ又は遊戯とされるからである。このように身体的に動かしていないものがスポーツとされるなら、コントローラーなどで操作されるゲームも競技化すればスポーツと呼んでいいのではないと思う。</p>	E	<p>eスポーツを“スポーツ”と定義すべきかについては、現在、スポーツ関係者においても議論が交わされているところです。いただいたご意見も踏まえ、今後も議論を重ねながら、eスポーツがもつ可能性についての情報収集や、関係団体との連携を図ってまいります。</p>
138	<p>私は小学6年生ごろからパソコンを利用し始め、中学、高校とオンラインゲームでよく遊んでいた。その頃、登校を拒否することも多く、オンラインゲームはその大きな要因であったと思う。若者たちがゲーム依存症によって現実でしか得られない機会に気付かない、無駄にすることは悲しいことである。しかし、ゲームをしている時間がまったくの無駄であるとは思えない。現に私は、オンラインゲームを通じて県外、海外の人と関係を持つことができたし、それらは自分の価値観を変えたり、外国語に興味を持ち学習意欲が高まった。またオンラインゲームでは、チームメイトとの連携や、戦略が大きく影響することが多々ある。それは、現在のスポーツと変わらない。eスポーツによって、他人との協力や、思いやりなど人としての成長が見込めるということだ。しかし、体の健康を促進、保持するという面ではeスポーツはスポーツとは異なる、または劣るといえるだろう。だが現在VRなど自分の体を動かして遊ぶゲームも増え、それらの技術が発展してきていることから、これからeスポーツの世界、幅はまたどんどん広がっていくと考えられる。多くの人にeスポーツがスポーツとして捉えられる未来はそう遠くないのではないだろうか。</p> <p>またこれから社会全体でeスポーツ含め、オンラインゲームへの理解が深まることを望む。私は今の社会のゲームに対する評価は否定的でありすぎると感じる。ゲームは確かに娯楽だが娯楽だけに留まらない。良い影響も、もちろん悪い影響も知り、理解することは人々がゲームに囚われないことにつながると思う。ゲームをよくする若者が依存症だ、病気だと言われることは明らかな差別であり、確実に人を傷つけることになる。ゲーム依存症を促しているのは今のこの社会全体ではないだろうか。</p> <p>eスポーツやゲームの扱いに関して、資料で慎重に議論を重ねるとあり、今までゲームに深く関わってきたものとして安心するとともに期待している。ゲームをスポーツとして取り入れることは慎重に、でもeスポーツがスポーツとして捉えてよいものか考えられていることをもっと多くの人に知ってほしい。多くの人に考えてもらいたいと考える。</p>	E	<p>eスポーツを“スポーツ”と定義すべきかについては、現在、スポーツ関係者においても議論が交わされているところです。いただいたご意見も踏まえ、今後も議論を重ねながら、eスポーツがもつ可能性についての情報収集や、関係団体との連携を図ってまいります。</p>

139	<p>eスポーツについて、スポーツと考えていない人が多いが、私自身もeスポーツをスポーツと考えていなかった。しかし、eスポーツを通して、スポーツの面白さを知ることができ、スポーツに興味をもつためのいいきっかけになるとは思った。</p> <p>県の活動として、スポーツ行事を積極的に行っているが、回覧板などにそのことを載せたり、競技場などに貼ったりしただけでは、目にする人が少なく、スポーツ行事があっている事を知らないという人が多いと考える。</p> <p>小中高の学校にプリントの配布をすることで、家族がスポーツについて知ることにも出来ると思うし、子供と一緒に活動しようとする人もいると思うので、学校なども連携して行くとスポーツに興味を持つ人が多くなると考えた。</p>	E	<p>eスポーツを“スポーツ”と定義すべきかについては、現在、スポーツ関係者においても議論が交わされているところです。いただいたご意見も踏まえ、今後も議論を重ねながら、eスポーツがもつ可能性についての情報収集や、関係団体との連携を図ってまいります。</p>
140	<p>eスポーツは、若者のゲーム依存に繋がるのが問題であるが、eスポーツは今後、積極的に推進すべきだと思った。27ページに記載してある、『eスポーツの可能性』を見て、特に「(5)ウィズコロナ時代への対応」に納得したことが理由である。新型コロナウイルスによって、スポーツをする機会が減ってきて、自粛生活に心と体が乱れていっている人がたくさんいると思う。</p> <p>私は、この『ながさきスポーツビジョン』を読むまでeスポーツという言葉聞いたことがなかったが、家庭用ゲームのスポーツゲームが存在することは知っていた。それ(eスポーツ)を、本格的にスポーツとして認めることはあまり賛成しない。あくまで私の意見だが、eスポーツをスポーツとして認めるかどうかは除いて、この時代にスポーツを欲している人たちへの最終手段としてeスポーツを広めていくべきだと思った。</p>	E	<p>eスポーツを“スポーツ”と定義すべきかについては、現在、スポーツ関係者においても議論が交わされているところです。いただいたご意見も踏まえ、今後も議論を重ねながら、eスポーツがもつ可能性についての情報収集や、関係団体との連携を図ってまいります。</p>
141	<p>私はeスポーツがスポーツであることに対して賛成派である。この時代の流れの中で、インターネットを使うスポーツがあってもいいのではないかと考える。身体的な障害を持つ人や高齢の方が出来るスポーツがあってもいいのではないかと考える。現在、コロナウイルスの感染防止のためスポーツ大会が中止されている中、eスポーツならば、オンラインで開催出来るのではないかと感じる。なので私はeスポーツがスポーツであることに対して賛成派である。</p>	E	<p>eスポーツを“スポーツ”と定義すべきかについては、現在、スポーツ関係者においても議論が交わされているところです。いただいたご意見も踏まえ、今後も議論を重ねながら、eスポーツがもつ可能性についての情報収集や、関係団体との連携を図ってまいります。</p>
142	<p>eスポーツをスポーツと思わない人の割合が75%を占めている。eスポーツは何を持ってスポーツと呼べるのか疑問に思う。障害のある人や年齢を問わず楽しむことができるが本当にスポーツなのか。</p> <p>また、幼い時からゲームばかりしてしまうと、屋外で遊ぶ機会が減り運動不足につながると思う。</p> <p>オンラインで対戦できるのは、今の時代にはとてもいいことだと思うが、スポーツと言えるのか疑問を感じた。</p>	E	<p>eスポーツを“スポーツ”と定義すべきかについては、現在、スポーツ関係者においても議論が交わされているところです。いただいたご意見も踏まえ、今後も議論を重ねながら、eスポーツがもつ可能性についての情報収集や、関係団体との連携を図ってまいります。</p>
143	<p>県民のeスポーツに対する意識の調査で一番多い意見であるように、私もeスポーツはスポーツだとは思わない。確かに、スポーツに興味がない人にきっかけとなる機会を与えられるし、障がいがある人でも高齢者でも参加できるし、今のコロナ禍ではオンラインでできるというメリットも考えられる。しかし、eスポーツは手先を動かすだけであって全く全身の運動にはつながらず、eスポーツきっかけでゲームに依存することになってしまいかねない。そうすると、若者の運動不足をさらに加速させてしまう。なので、私はeスポーツの推進には反対である。</p>	E	<p>eスポーツを“スポーツ”と定義すべきかについては、現在、スポーツ関係者においても議論が交わされているところです。いただいたご意見も踏まえ、今後も議論を重ねながら、eスポーツがもつ可能性についての情報収集や、関係団体との連携を図ってまいります。</p>